

吹田市都市計画マスタープランの見直しに関する アンケート調査

【調査結果】

平成25年(2013年)2月

目次

1. 回答者属性
2. まちづくりに対する現状評価
3. 今後重要と思う重要テーマ
4. まちづくりに対する満足度と重要度
5. 定住に関する意識
6. アンケート結果から見た課題・見直しの視点

【調査の実施概要】

- ・発送: 3000通（18歳以上無作為抽出）
- ・回収: 1402通（回収率46.7%）
※発送・回収とも郵送による
- ・調査時期: 平成24年10月

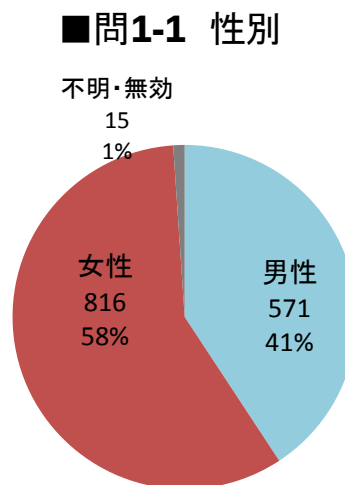
1. 回答者属性

① 性別及び年齢

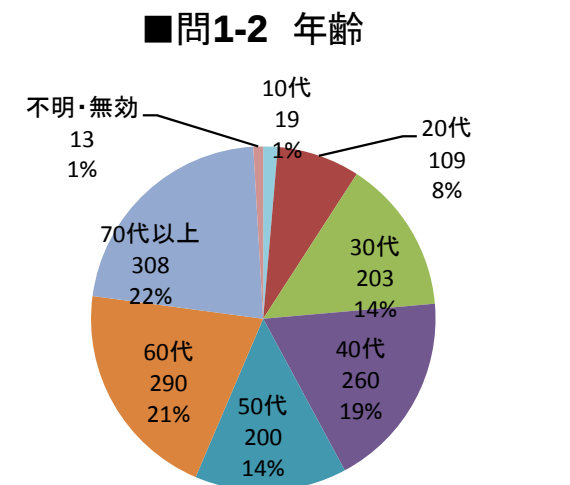
- ・男性4割、女性6割の回答比率となっている。
- ・回答者年齢は、60代、70代以上で4割超を占める。(実人口での比率を上回る)

問1-1 性別	集計
男性	571
女性	816
不明・無効	15
総計	1402

問1-2 年齢	集計
10代	19
20代	109
30代	203
40代	260
50代	200
60代	290
70代以上	308
不明・無効	13
総計	1402



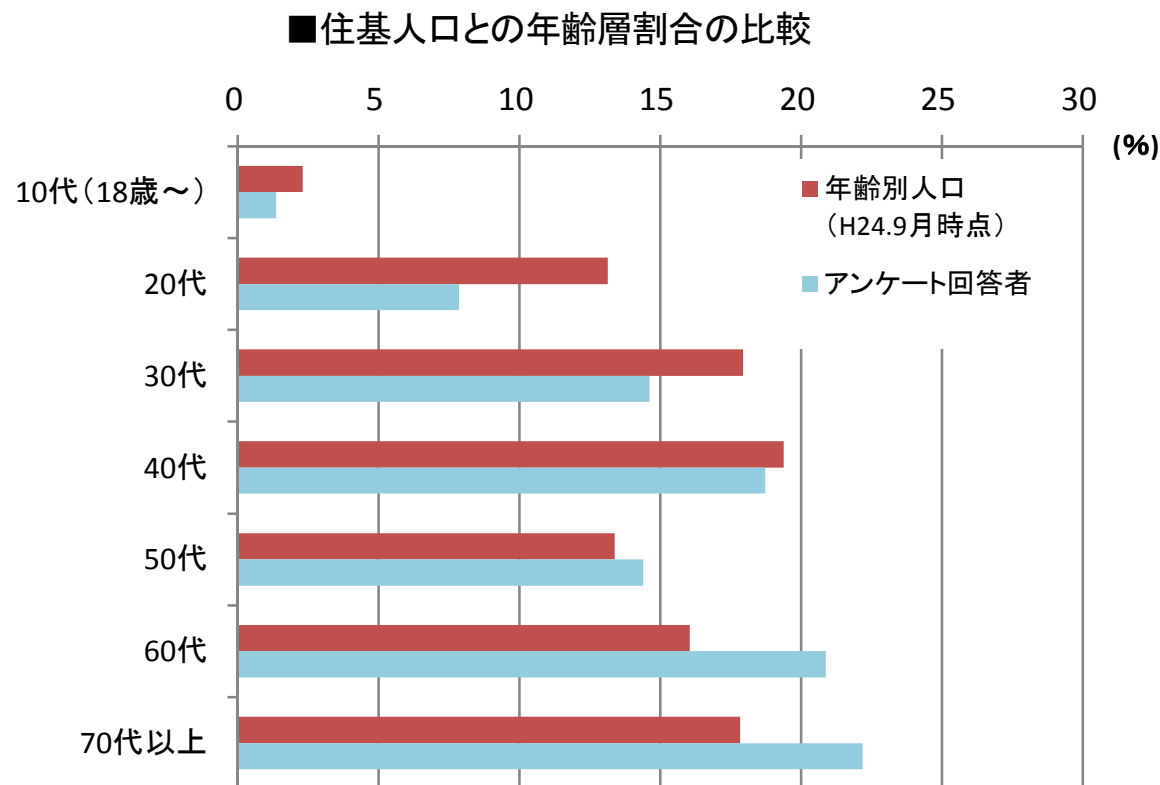
N=1402



N=1402

【参考】 回答者年齢割合(実人口との比較)

- ・10代から30代は、住基人口での比率に比べ低くなっている。
- ・60代、70代以上は、住基人口での比率を上回っている。
- ・40代、50代については住基人口と大きな開きは見られない。

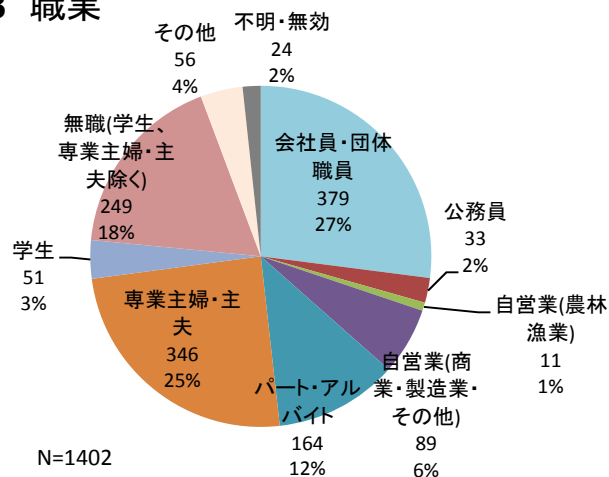


② 職業及び住まい

- ・会社員・団体職員、専業主婦・主夫、無職の方の割合が高い。
- ・持家(戸建又はマンション)の方が3分の2を占める。

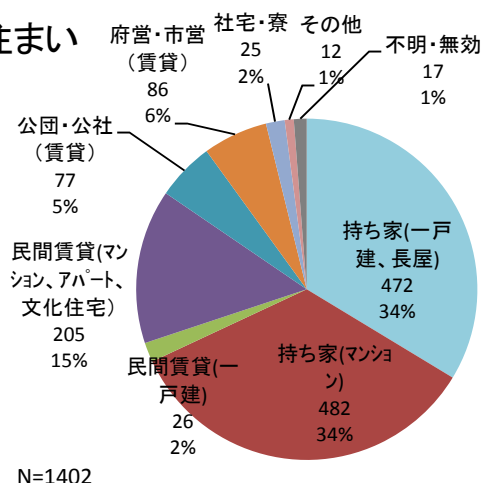
問1-3 職業	集計
会社員・団体職員	379
公務員	33
自営業(農林漁業)	11
自営業(商業・製造業・その他)	89
パート・アルバイト	164
専業主婦・主夫	346
学生	51
無職(学生、専業主婦・主夫除く)	249
その他	56
不明・無効	24
総計	1402

■問1-3 職業



問1-4 住まい	集計
持ち家(一戸建、長屋)	472
持ち家(マンション)	482
民間賃貸(一戸建)	26
民間賃貸(マンション、アパート、文化住宅)	205
公団・公社(賃貸)	77
府営・市営(賃貸)	86
社宅・寮	25
その他	12
不明・無効	17
総計	1402

■問1-4 住まい

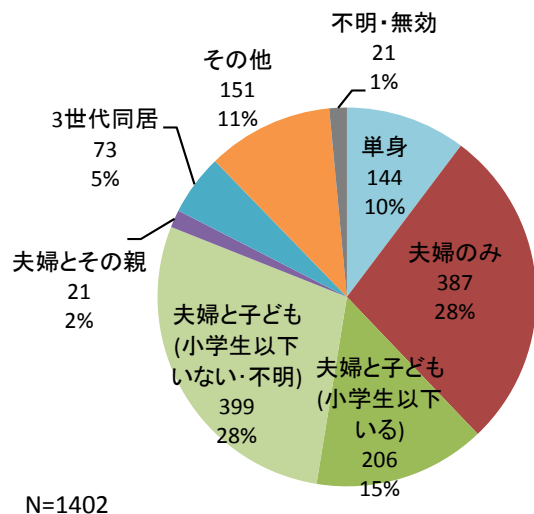


③ 世帯構成

- ・夫婦と子どもの世帯が最も多く、次いで夫婦のみ世帯が多い。
- ・65歳以上の方がいる世帯は約4割、小学生以下の子どもがいる世帯は約2割。

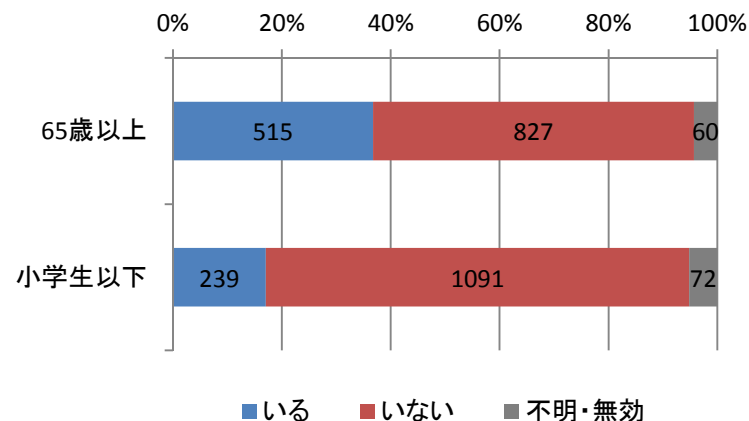
問1-5世帯構成	集計
単身	144
夫婦のみ	387
夫婦と子ども(小学生以下いる)	206
夫婦と子ども(小学生以下いない・不明)	399
夫婦とその親	21
3世代同居	73
その他	151
不明・無効	21
総計	1402

■問1-5 世帯構成



問1-6高齢者・小学生以下の有無	65歳以上	小学生以下
いる	515	239
いない	827	1091
不明・無効	60	72
総計	1402	1402

■問1-6 65歳以上又は小学生以下の同居

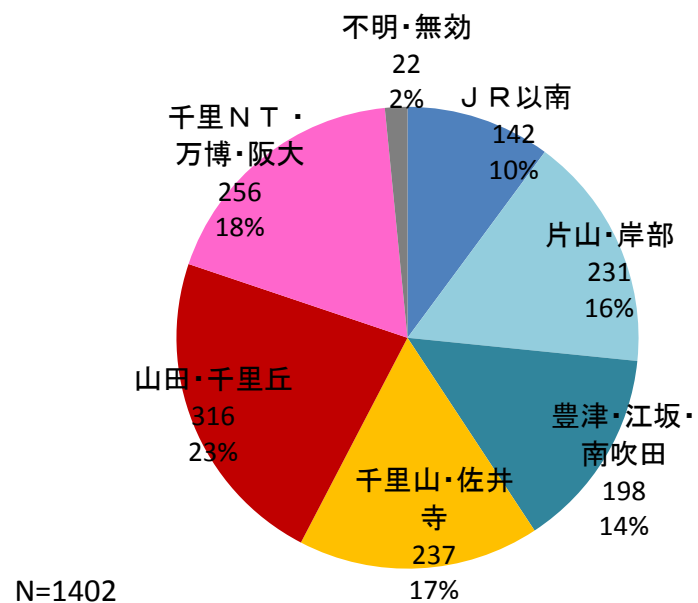


④ 居住地域

・実人口のバランスに概ね近い形で、市内各地域からの回答が得られている。

問1-7居住地域	集計
JR以南	142
片山・岸部	231
豊津・江坂・南吹田	198
千里山・佐井寺	237
山田・千里丘	316
千里NT・万博・阪大	256
不明・無効	22
総計	1402

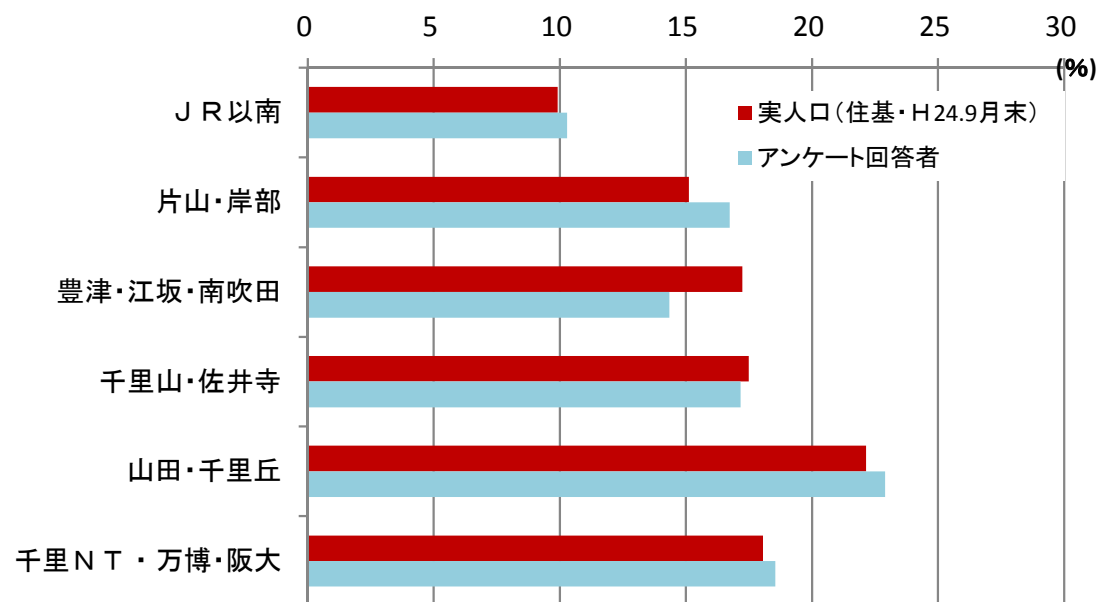
■問1-7 居住地域



【参考】 回答者居住地割合(実人口との比較)

・片山・岸部、豊津・江坂・南吹田の両地域で、やや開きが見られるものの、概ね住基人口の比率に近い形となっている。

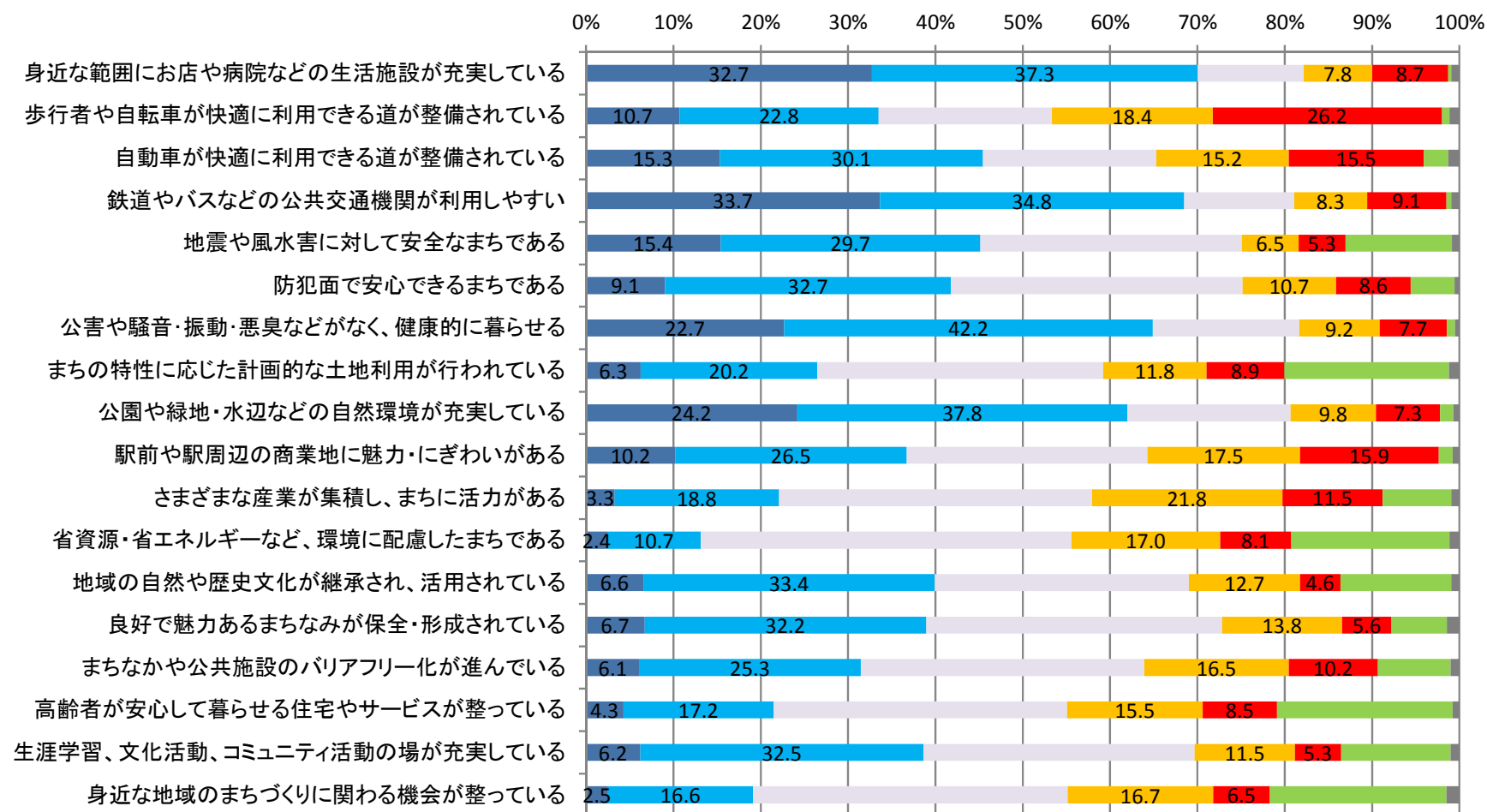
■地域別人口(住基)との居住地別割合の比較



2. まちづくりに対する現状評価

① 現状評価【5段階評価】

■問2-1 まちづくりへの評価

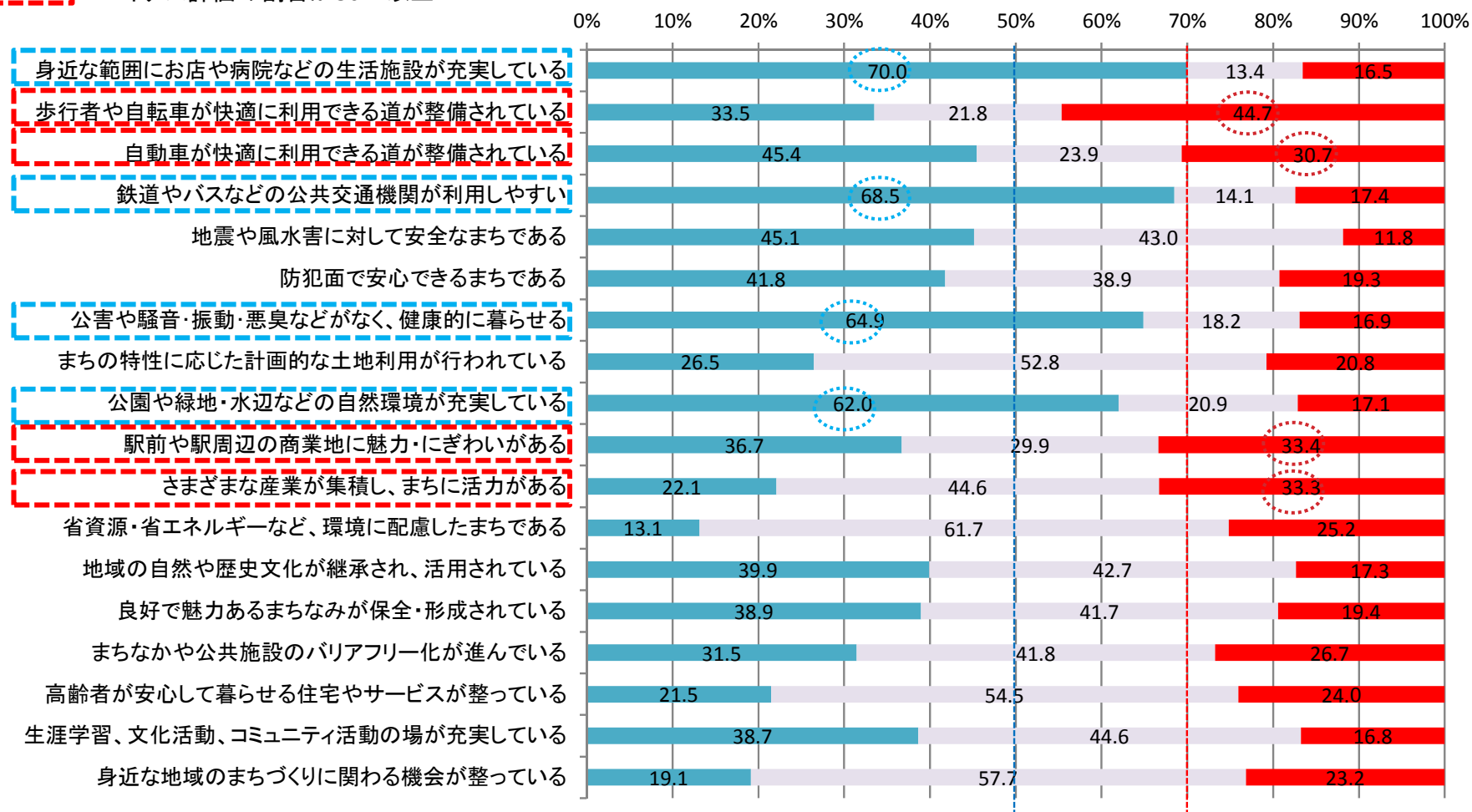


■ と思う ■ どちらかと言えば思う ■ どちらとも言えない ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 不明・無効

② 現状評価【5段階評価を集約】

■問2-1 まちづくりへの評価

- プラス評価の割合が50%以上
 マイナス評価の割合が30%以上



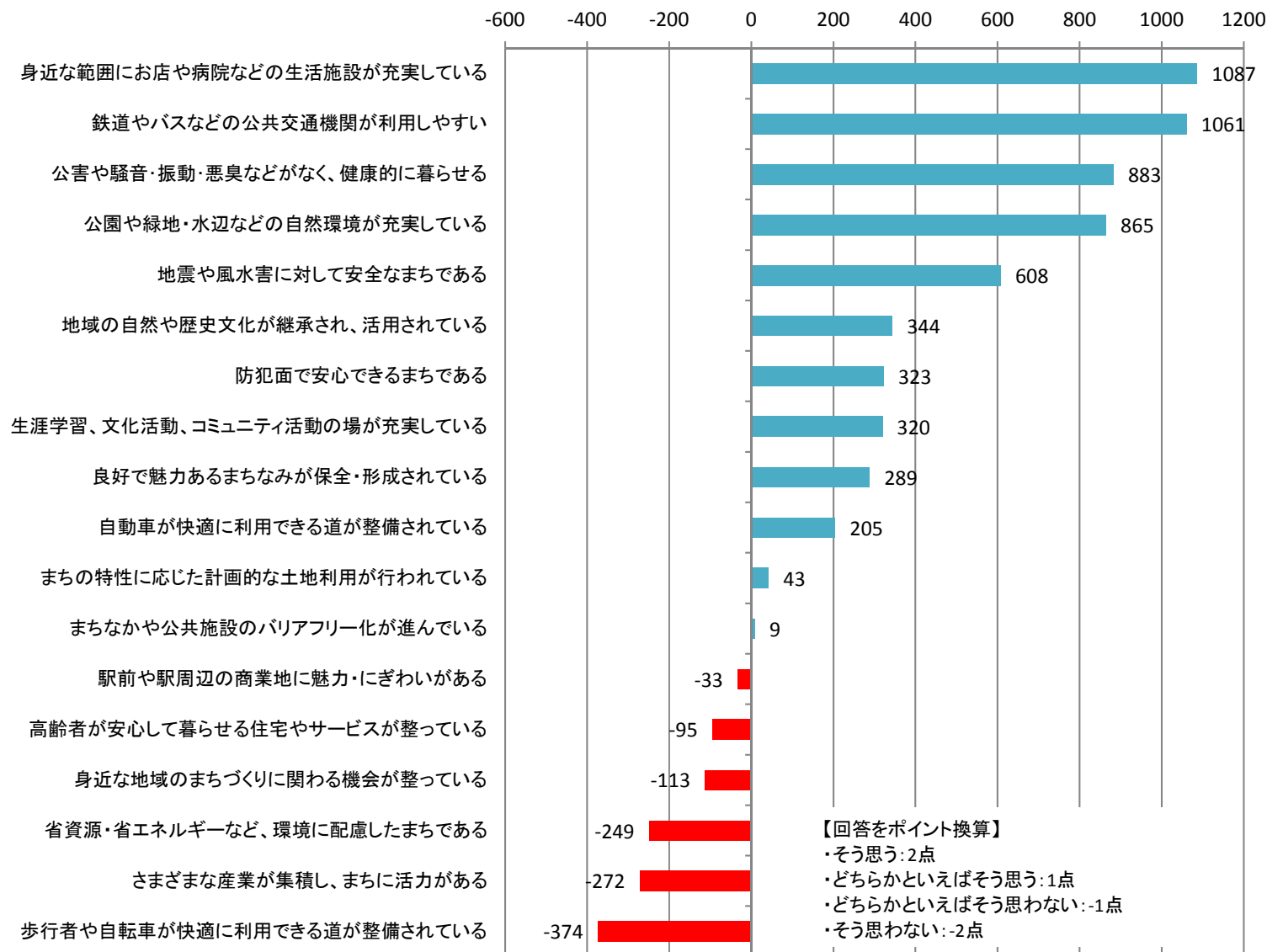
そう思う＝プラス評価　そう思わない＝マイナス評価

どちらかといえばそう思う/そう思わないをプラス、マイナスの各評価に集約整理

■ プラス評価　■ どちらとも言えない、わからない 等　■ マイナス評価

③ 現状評価【5段階評価をポイント換算】

■問2-1 まちづくりへの評価

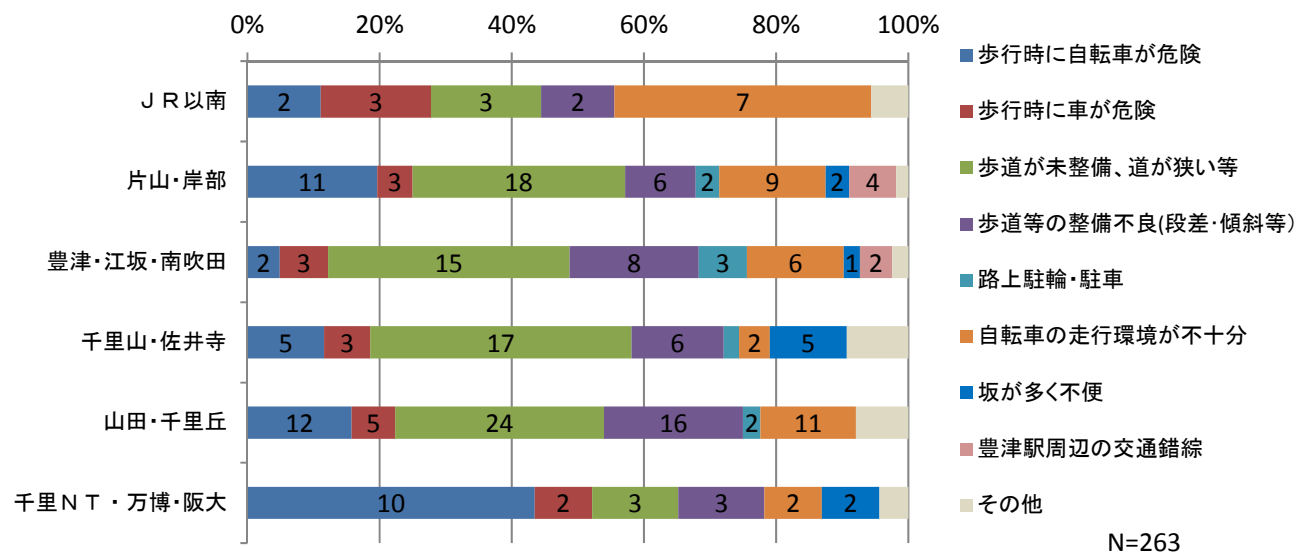
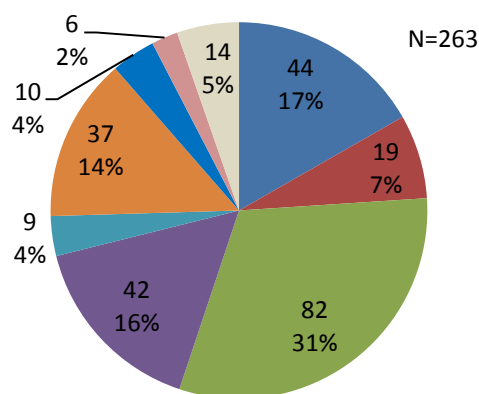


【参考】 現状評価が低い項目について(歩行者・自転車の空間)

- ・歩行者、自転車利用者両方の視点からの意見が見られる。
- ・地域によって理由の内訳・比率は異なっている。

(例: 自転車に関する意見について、JR以南では自転車利用環境の整備要望が目立つ。千里NT・万博・阪大地域では歩行時における自転車の危険性を指摘する意見が目立つ)

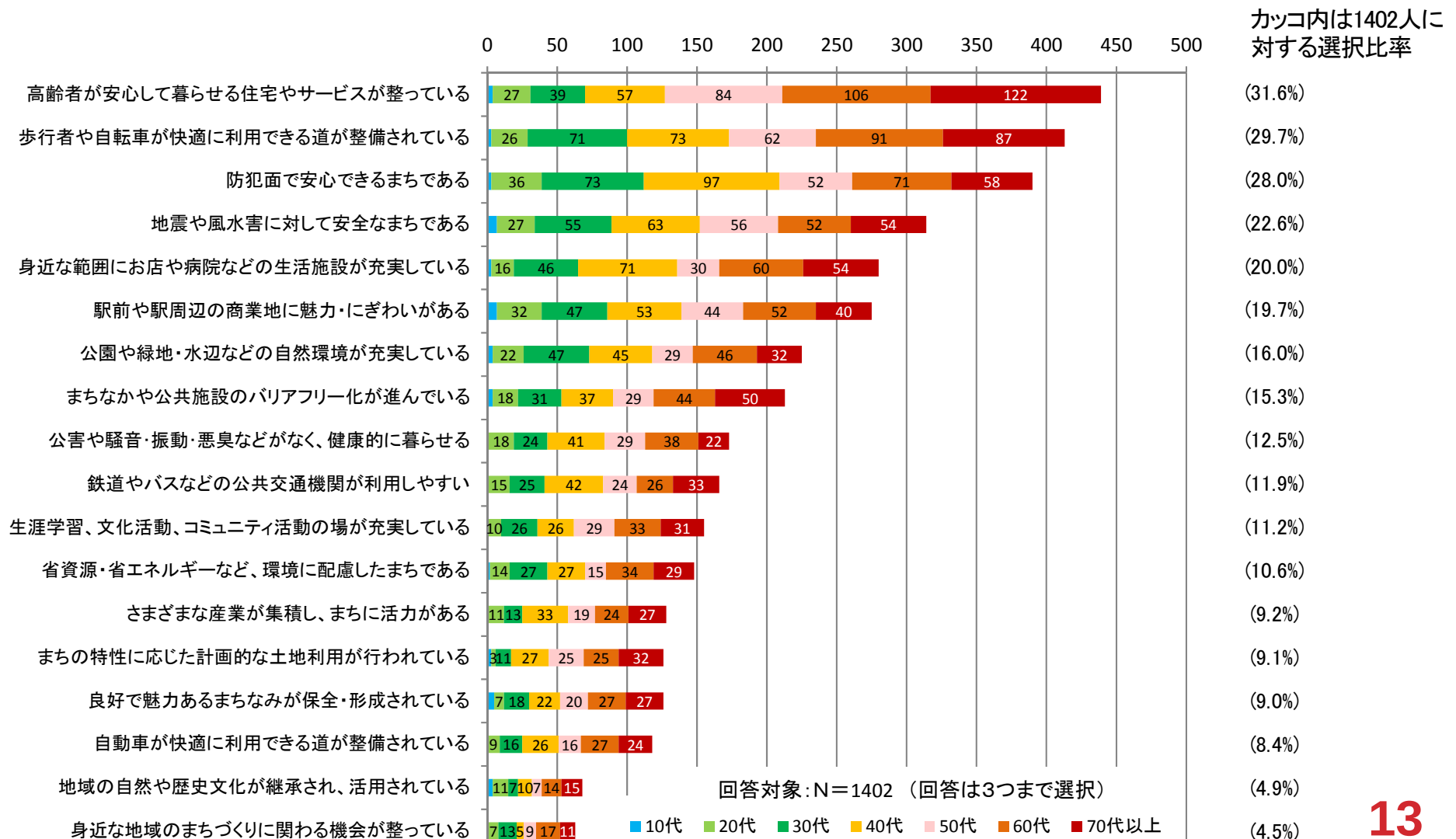
■ 歩行者・自転車が快適に利用できる道が整備されていると思わない理由(自由記述を分類・集計)



3. 今後重要と思うテーマ

① 今後の重要テーマ【全年齢層積上げ】

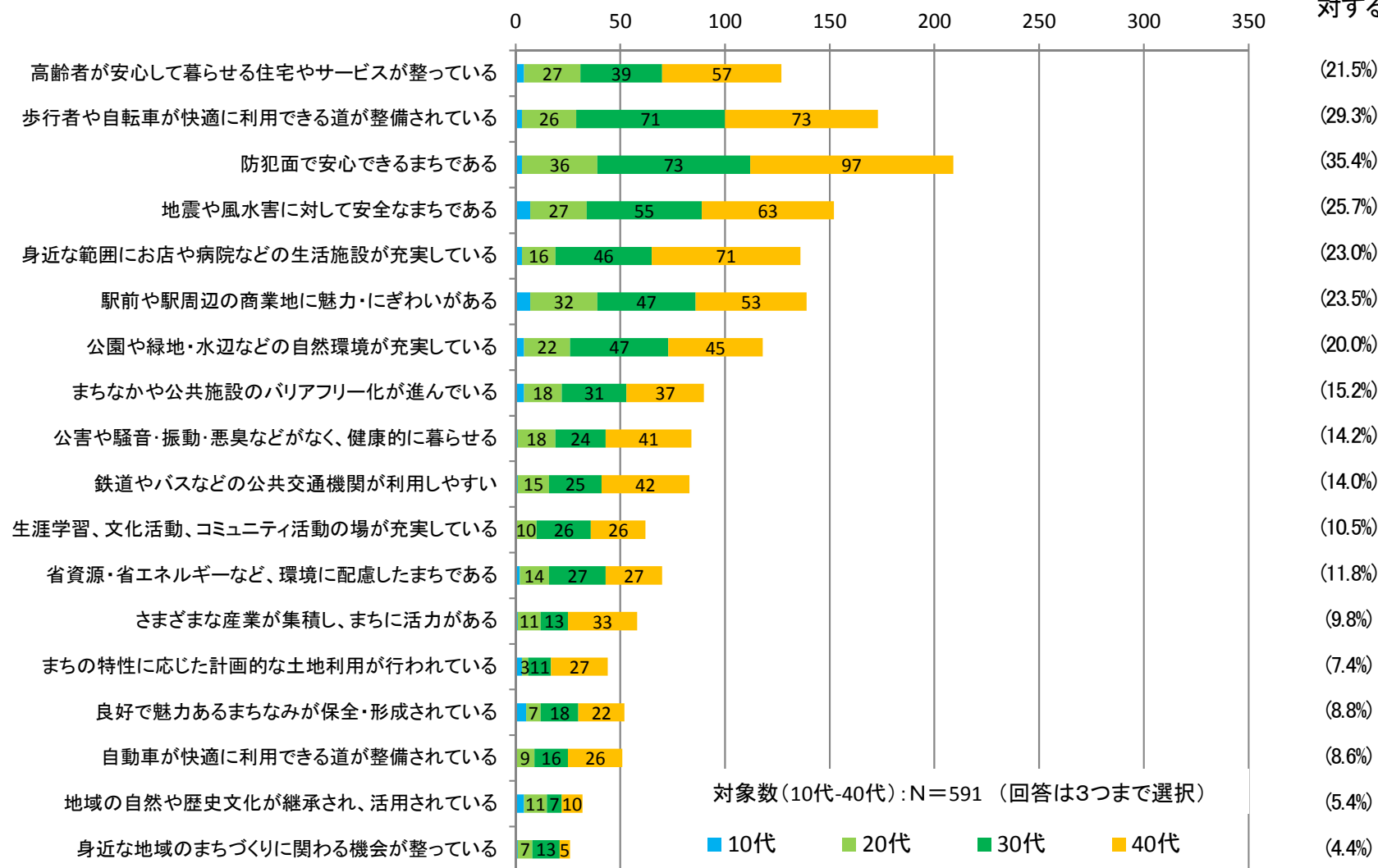
■問2-2 今後の重要テーマ



② 今後の重要テーマ【10代～40代】

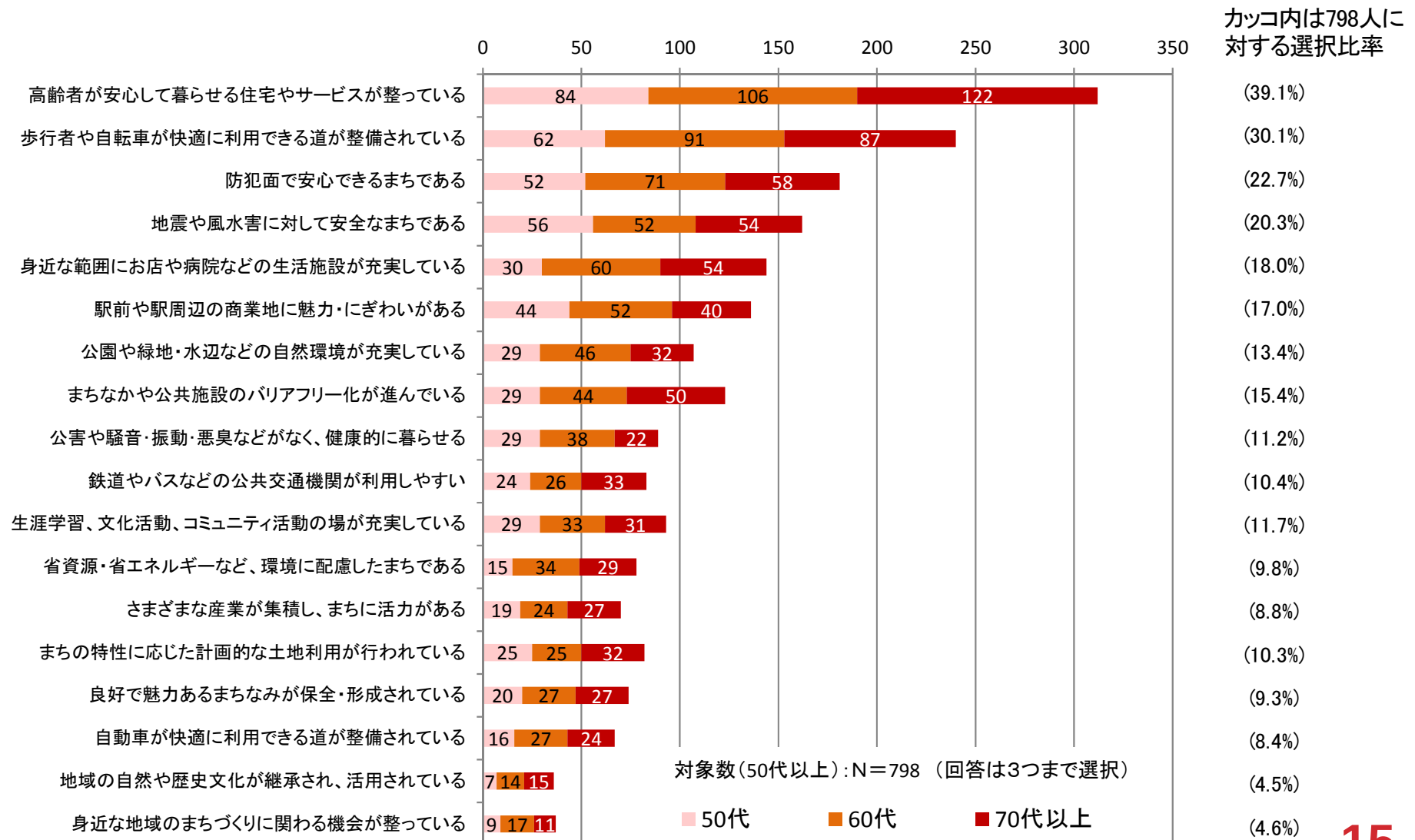
■問2-2 今後の重要テーマ

カッコ内は591人に対する選択比率



③ 今後の重要テーマ【50代～70代以上】

■問2-2 今後の重要テーマ

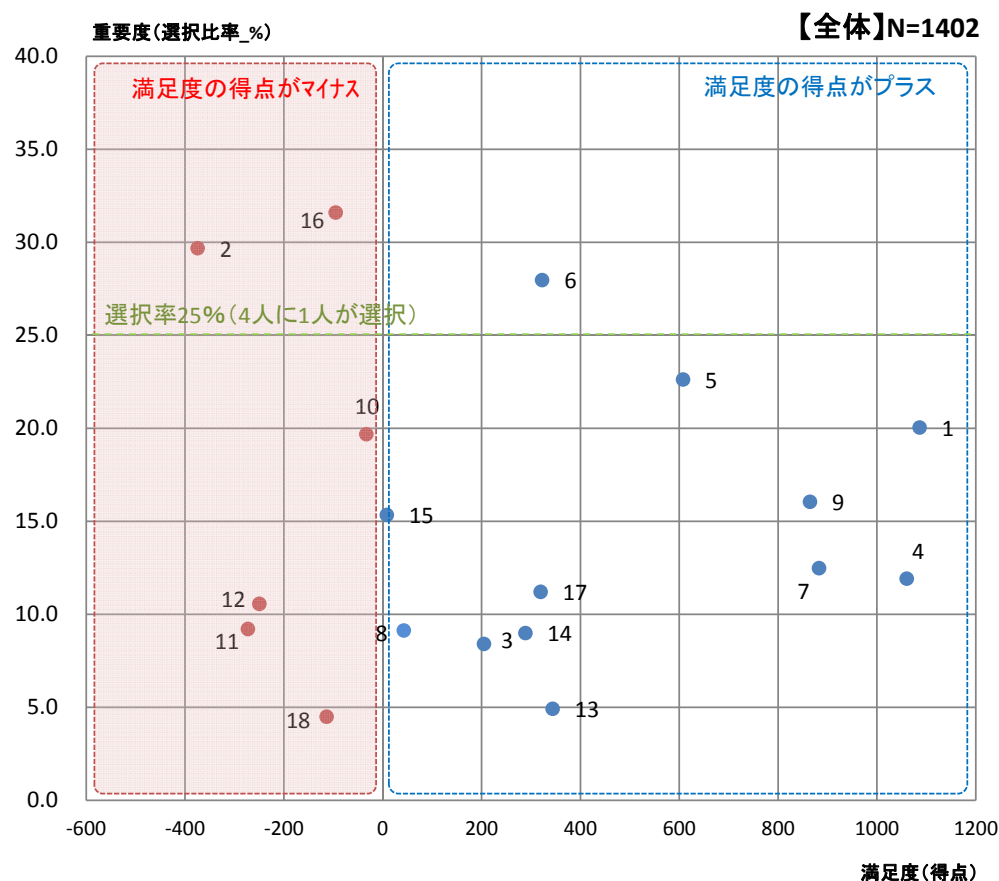


4. まちづくりに対する満足度と重要度

① 全体

■問2-1 まちづくりへの評価 × 問2-2 今後の重要テーマ

・自転車・歩行者空間と高齢者向けの住宅・サービスは満足度がマイナスで、かつ重要度が高い。



番号	テーマ
1	身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実している
2	歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている
3	自動車が快適に利用できる道が整備されている
4	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい
5	地震や風水害に対して安全なまちである
6	防犯面で安心できるまちである
7	公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせる
8	まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われている
9	公園や緑地・水辺などの自然環境が充実している
10	駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがある
11	さまざまな産業が集積し、まちに活力がある
12	省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちである
13	地域の自然や歴史文化が継承され、活用されている
14	良好で魅力あるまちなみが保全・形成されている
15	まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいる
16	高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っている
17	生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実している
18	身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っている

【縦軸・重要度＝問2-2で重要として選択された比率】

・当該属性の人数に対し、何%が選択したかを示す

【横軸・満足度＝問2-1の回答をポイント換算した得点】

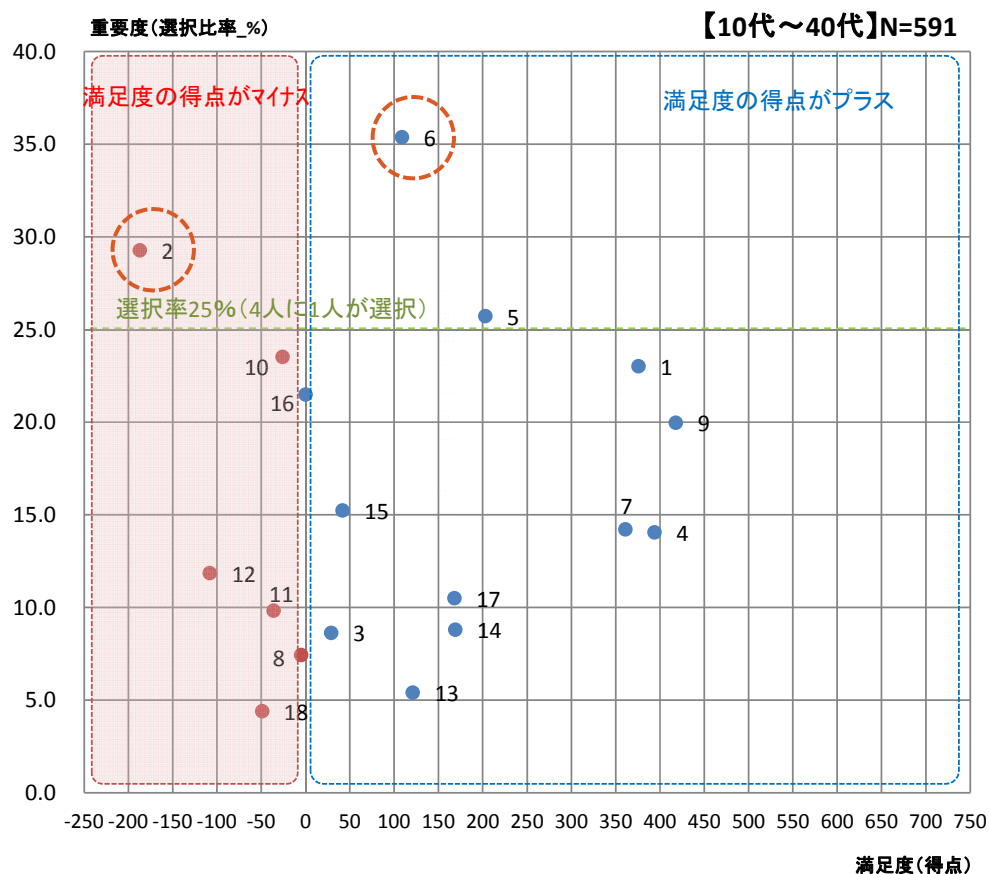
・そう思う:2点 ・どちらかといえばそう思う:1点

・どちらかといえばそう思わない:-1点 ・そう思わない:-2点

② 10代～40代

■問2-1 まちづくりへの評価 × 問2-2 今後の重要テーマ

- ・自転車・歩行者空間は満足度がマイナスで、かつ重要度が高い。
- ・防犯面は、満足度はプラスだが、重要度が高い。



番号	テーマ
1	身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実している
2	歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている
3	自動車が快適に利用できる道が整備されている
4	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい
5	地震や風水害に対して安全なまちである
6	防犯面で安心できるまちである
7	公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせる
8	まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われている
9	公園や緑地・水辺などの自然環境が充実している
10	駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがある
11	さまざまな産業が集積し、まちに活力がある
12	省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちである
13	地域の自然や歴史文化が継承され、活用されている
14	良好で魅力あるまちなみが保全・形成されている
15	まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいる
16	高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っている
17	生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実している
18	身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っている

【縦軸・重要度＝問2-2で重要として選択された比率】

・当該属性の人数に対し、何%が選択したかを示す

【横軸・満足度＝問2-1の回答をポイント換算した得点】

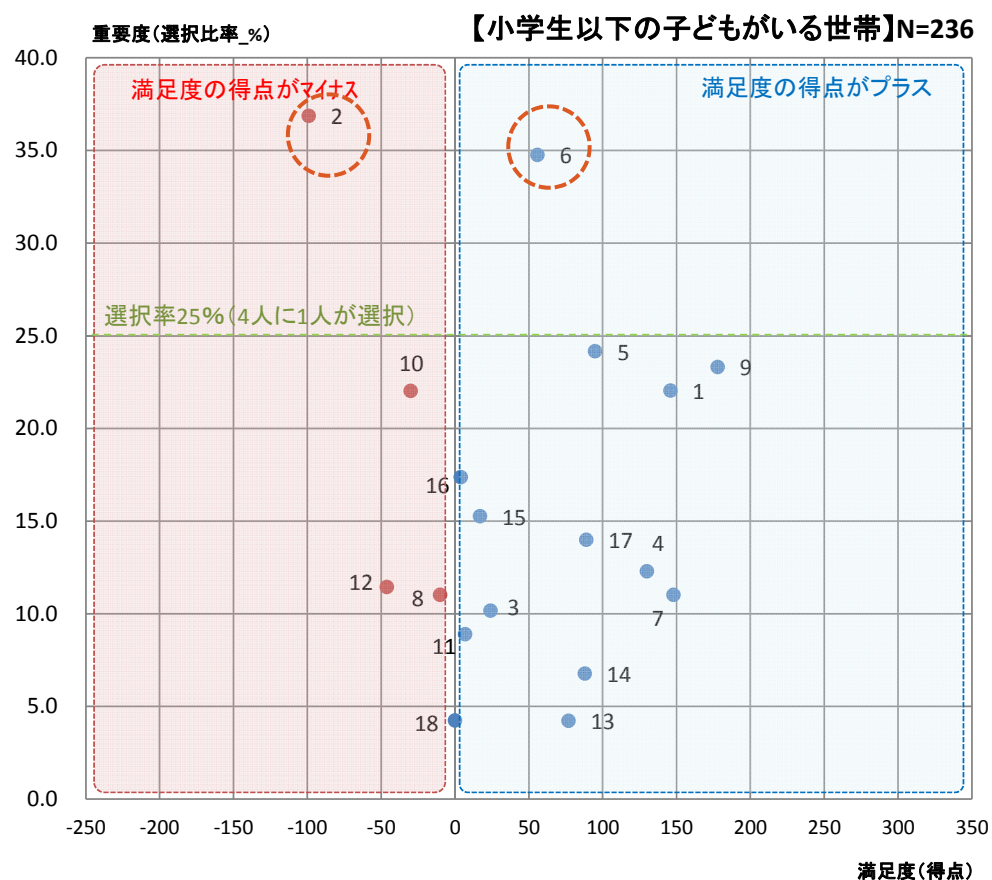
・そう思う:2点 ・どちらかといえばそう思う:1点

・どちらかといえばそう思わない:-1点 ・そう思わない:-2点

③ 小学生以下の子どもがいる世帯

■問2-1 まちづくりへの評価 × 問2-2 今後の重要テーマ

- ・自転車・歩行者空間は満足度がマイナスで、かつ重要度が高い(10-40代全体よりも高め)。
- ・防犯面は、満足度はプラスだが、重要度が高い。



番号	テーマ
1	身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実している
2	歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている
3	自動車が快適に利用できる道が整備されている
4	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい
5	地震や風水害に対して安全なまちである
6	防犯面で安心できるまちである
7	公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせる
8	まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われている
9	公園や緑地・水辺などの自然環境が充実している
10	駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがある
11	さまざまな産業が集積し、まちに活力がある
12	省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちである
13	地域の自然や歴史文化が継承され、活用されている
14	良好で魅力あるまちなみが保全・形成されている
15	まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいる
16	高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っている
17	生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実している
18	身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っている

【縦軸・重要度＝問2-2で重要として選択された比率】

・当該属性の人数に対し、何%が選択したかを示す

【横軸・満足度＝問2-1の回答をポイント換算した得点】

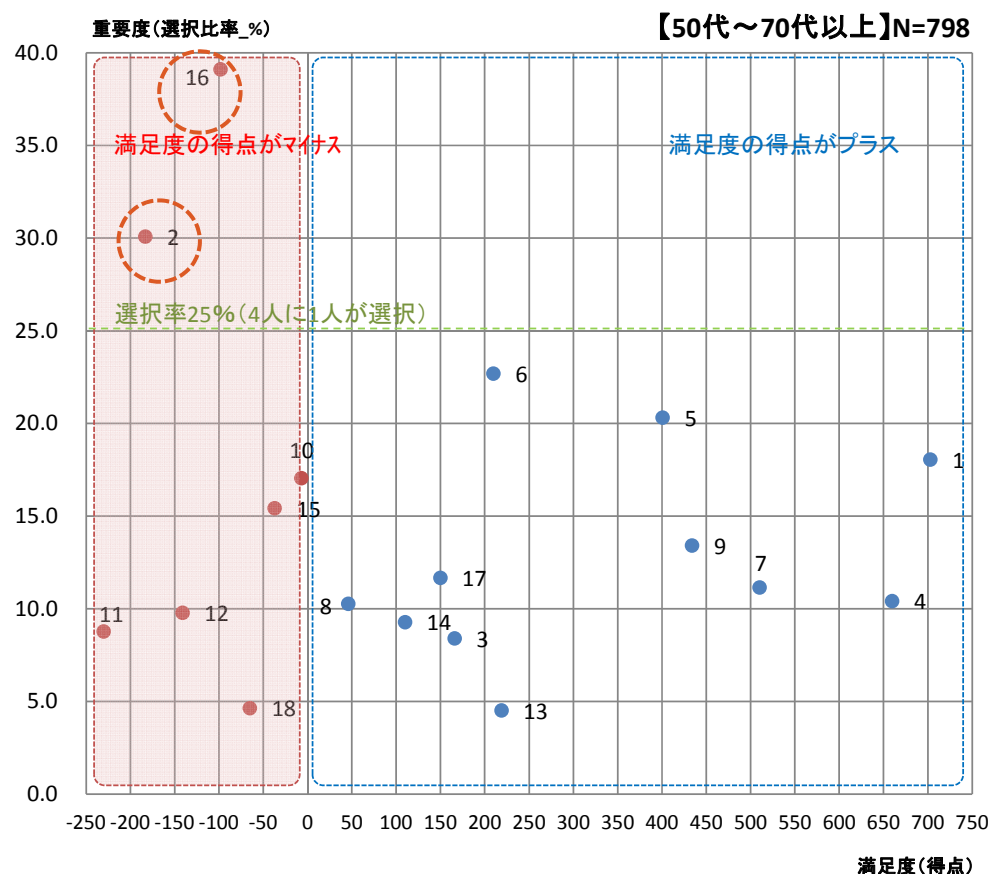
・そう思う:2点 ・どちらかといえばそう思う:1点

・どちらかといえばそう思わない:-1点 ・そう思わない:-2点

④ 50代～70代以上

■問2-1 まちづくりへの評価 × 問2-2 今後の重要テーマ

- ・自転車・歩行者空間は満足度がマイナスで、かつ重要度が高い。(若年層と共通)
- ・高齢者向けの住宅・サービスは、満足度がマイナスで、かつ重要度が高い。



番号	テーマ
1	身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実している
2	歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている
3	自動車が快適に利用できる道が整備されている
4	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい
5	地震や風水害に対して安全なまちである
6	防犯面で安心できるまちである
7	公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせる
8	まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われている
9	公園や緑地・水辺などの自然環境が充実している
10	駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがある
11	さまざまな産業が集積し、まちに活力がある
12	省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちである
13	地域の自然や歴史文化が継承され、活用されている
14	良好で魅力あるまちなみが保全・形成されている
15	まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいる
16	高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っている
17	生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実している
18	身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っている

【縦軸・重要度＝ 問2-2で重要として選択された比率】

・当該属性の人数に対し、何%が選択したかを示す

【横軸・満足度＝ 問2-1の回答をポイント換算した得点】

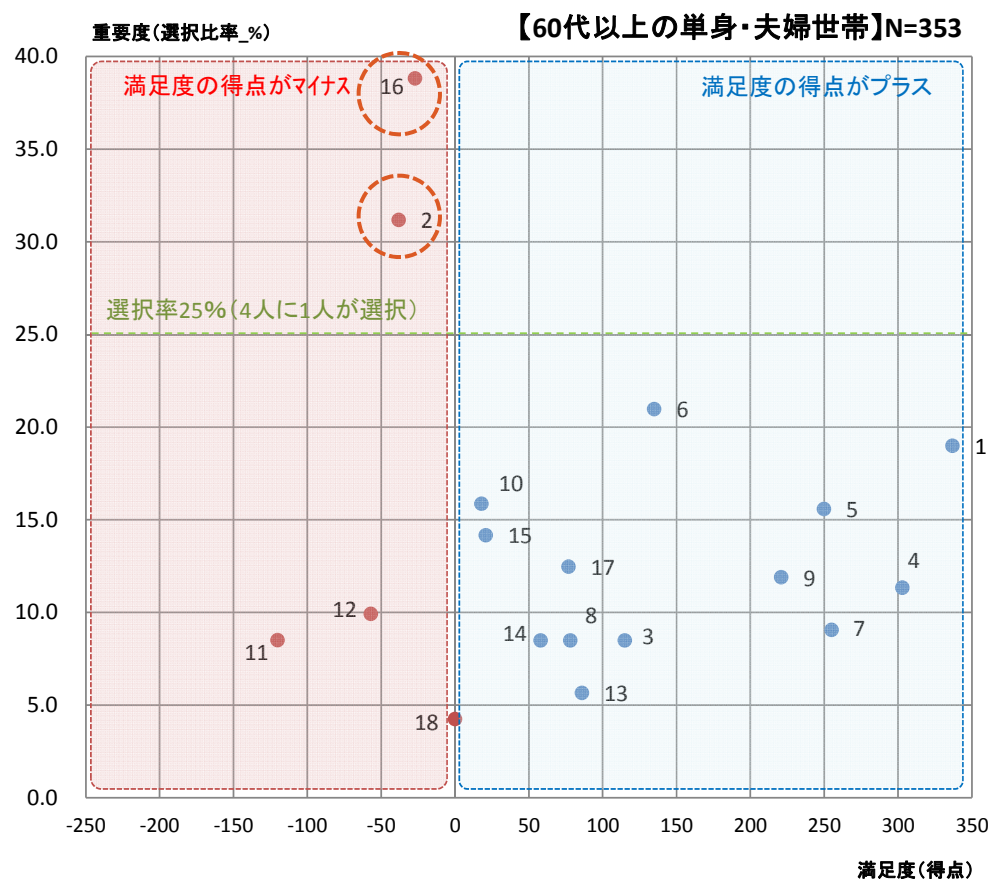
・そう思う:2点 ・どちらかといえばそう思う:1点

・どちらかといえばそう思わない:-1点 ・そう思わない:-2点

⑤ 60代以上の単身・夫婦世帯

■問2-1 まちづくりへの評価 × 問2-2 今後の重要テーマ

・50代～70代の集計結果と概ね同様の傾向である。



番号	テーマ
1	身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実している
2	歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている
3	自動車が快適に利用できる道が整備されている
4	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい
5	地震や風水害に対して安全なまちである
6	防犯面で安心できるまちである
7	公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせる
8	まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われている
9	公園や緑地・水辺などの自然環境が充実している
10	駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがある
11	さまざまな産業が集積し、まちに活力がある
12	省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちである
13	地域の自然や歴史文化が継承され、活用されている
14	良好で魅力あるまちなみが保全・形成されている
15	まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいる
16	高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っている
17	生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実している
18	身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っている

【縦軸・重要度＝ 問2-2で重要として選択された比率】

・当該属性の人数に対し、何%が選択したかを示す

【横軸・満足度＝ 問2-1の回答をポイント換算した得点】

・そう思う:2点 ・どちらかといえばそう思う:1点

・どちらかといえばそう思わない:-1点 ・そう思わない:-2点

⑥ 6地域別

■問2-1 まちづくりへの評価 × 問2-2 今後の重要テーマ

番号	テーマ	JR以南	片山・岸部	豊津・江坂・南吹田	千里山・佐井寺	山田・千里丘	千里NT・万博・阪大
1	身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実している	125	176	182	151	138	302
2	歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている	-27	-120	-62	-96	-188	132
3	自動車が快適に利用できる道が整備されている	15	-9	11	-26	-17	235
4	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい	134	163	163	90	154	344
5	地震や風水害に対して安全なまちである	-35	90	38	140	168	202
6	防犯面で安心できるまちである	-7	29	21	67	80	127
7	公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせる	30	127	34	190	209	283
8	まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われている	-29	-4	12	25	-53	92
9	公園や緑地・水辺などの自然環境が充実している	8	63	95	170	170	350
10	駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがある	0	-88	118	-44	-75	55
11	さまざまな産業が集積し、まちに活力がある	-40	-51	60	-59	-90	-86
12	省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちである	-48	-47	-52	-41	-57	3
13	地域の自然や歴史文化が継承され、活用されている	16	88	19	51	86	84
14	良好で魅力あるまちなみが保全・形成されている	-16	33	20	60	52	138
15	まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいる	-13	-7	-32	-9	-56	127
16	高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っている	-23	-26	-38	-12	-39	41
17	生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実している	24	42	29	48	91	85
18	身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っている	-27	-7	-27	-18	-36	-1

表中の数値は問2-1の回答をポイント換算した得点を示す

得点がマイナスの項目(弱み・課題)

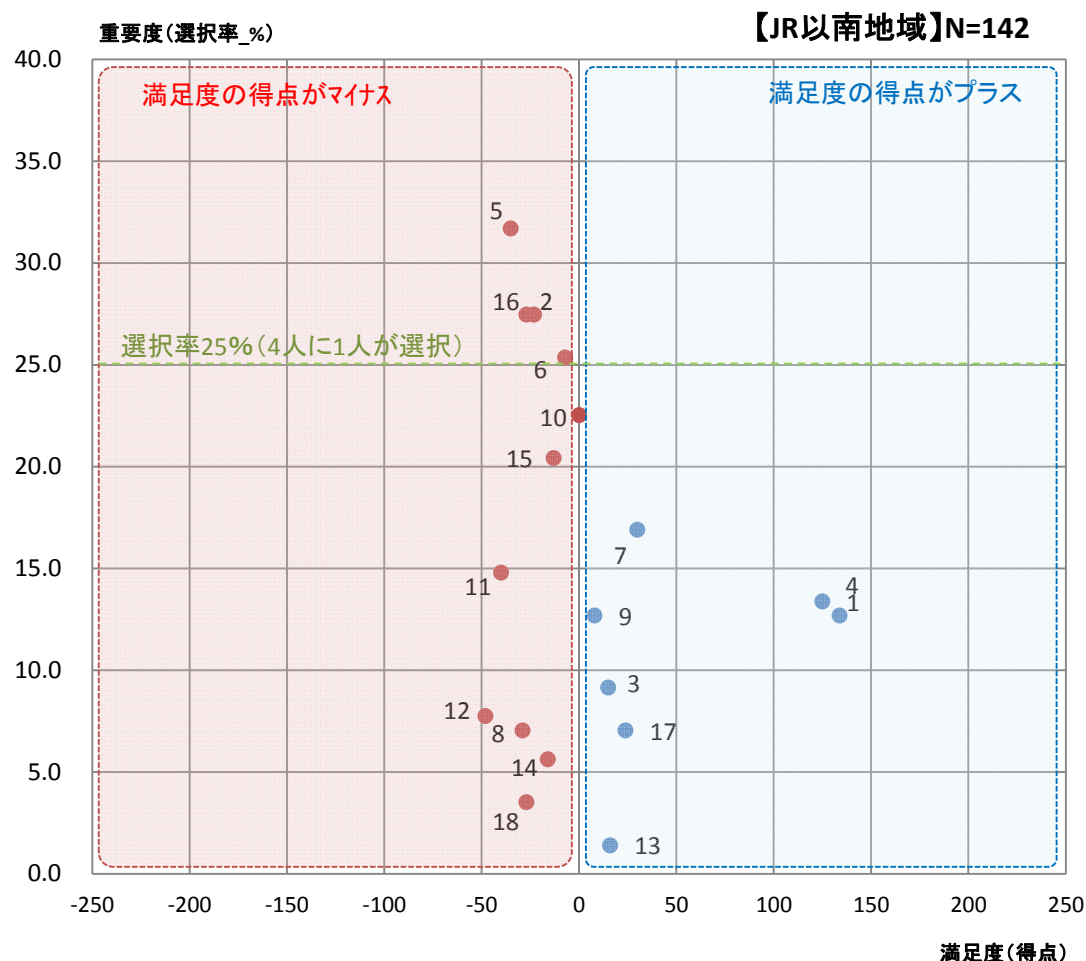
得点が150以上の項目(強み・特長)

各地域において、満足度のポイントがマイナスとなったテーマのうち、重要度が高いもの(問2-2での選択率25%以上と設定)を赤枠囲い

【参考】 地域別結果

■問2-1 まちづくりへの評価 × 問2-2 今後の重要テーマ

【JR以南地域】



番号	テーマ
1	身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実している
2	歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている
3	自動車が快適に利用できる道が整備されている
4	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい
5	地震や風水害に対して安全なまちである
6	防犯面で安心できるまちである
7	公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせる
8	まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われている
9	公園や緑地・水辺などの自然環境が充実している
10	駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがある
11	さまざまな産業が集積し、まちに活力がある
12	省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちである
13	地域の自然や歴史文化が継承され、活用されている
14	良好で魅力あるまちなみが保全・形成されている
15	まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいる
16	高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っている
17	生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実している
18	身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っている

【縦軸・重要度＝ 問2-2で重要として選択された比率】

・当該属性の人数に対し、何%が選択したかを示す

【横軸・満足度＝ 問2-1の回答をポイント換算した得点】

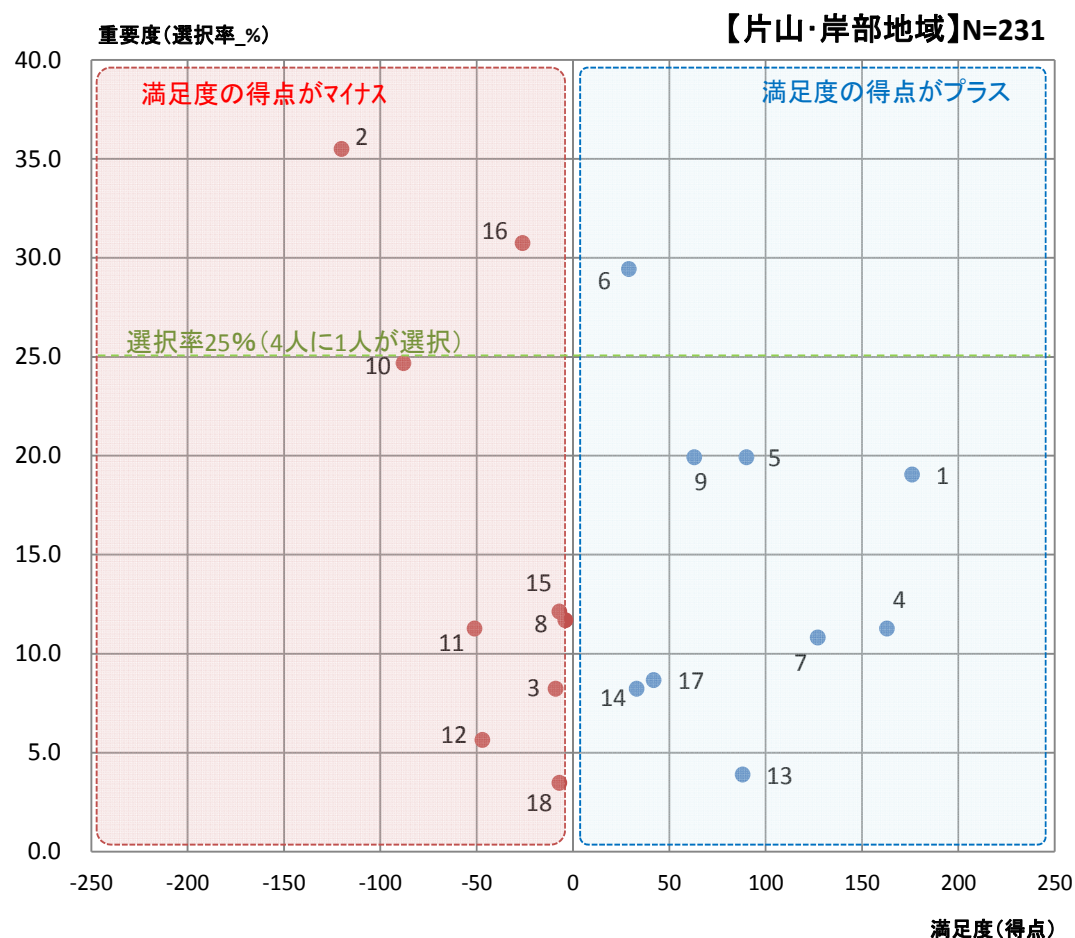
・そう思う:2点 ・どちらかといえばそう思う:1点

・どちらかといえばそう思わない:-1点 ・そう思わない:-2点

【参考】 地域別結果

■問2-1 まちづくりへの評価 × 問2-2 今後の重要テーマ

【片山・岸部地域】



番号	テーマ
1	身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実している
2	歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている
3	自動車が快適に利用できる道が整備されている
4	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい
5	地震や風水害に対して安全なまちである
6	防犯面で安心できるまちである
7	公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせる
8	まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われている
9	公園や緑地・水辺などの自然環境が充実している
10	駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがある
11	さまざまな産業が集積し、まちに活力がある
12	省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちである
13	地域の自然や歴史文化が継承され、活用されている
14	良好で魅力あるまちなみが保全・形成されている
15	まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいる
16	高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っている
17	生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実している
18	身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っている

【縦軸・重要度＝問2-2で重要として選択された比率】

・当該属性の人数に対し、何%が選択したかを示す

【横軸・満足度＝問2-1の回答をポイント換算した得点】

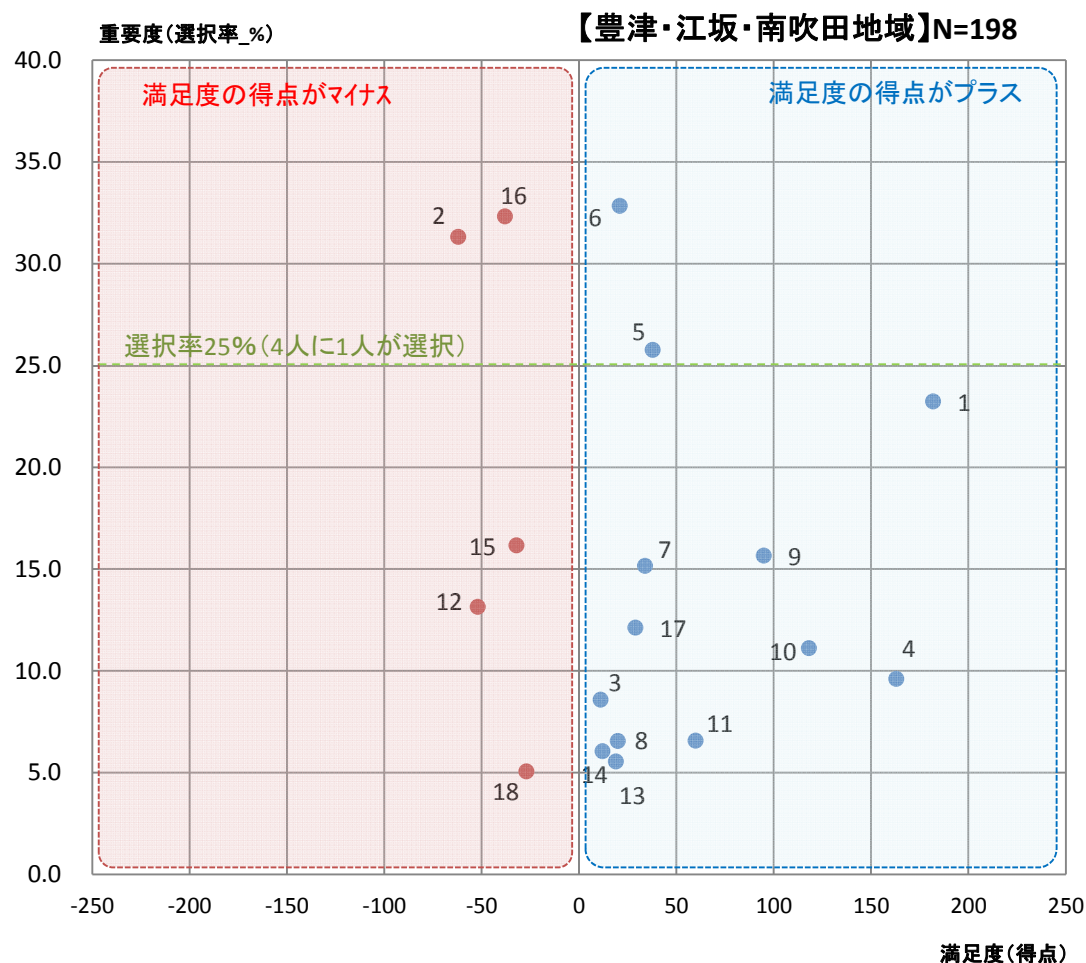
・そう思う:2点 ・どちらかといえばそう思う:1点

・どちらかといえばそう思わない:-1点 ・そう思わない:-2点

【参考】 地域別結果

■問2-1 まちづくりへの評価 × 問2-2 今後の重要テーマ

【豊津・江坂・南吹田地域】



番号	テーマ
1	身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実している
2	歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている
3	自動車が快適に利用できる道が整備されている
4	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい
5	地震や風水害に対して安全なまちである
6	防犯面で安心できるまちである
7	公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせる
8	まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われている
9	公園や緑地・水辺などの自然環境が充実している
10	駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがある
11	さまざまな産業が集積し、まちに活力がある
12	省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちである
13	地域の自然や歴史文化が継承され、活用されている
14	良好で魅力あるまちなみが保全・形成されている
15	まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいる
16	高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っている
17	生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実している
18	身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っている

【縦軸・重要度＝問2-2で重要として選択された比率】

・当該属性の人数に対し、何%が選択したかを示す

【横軸・満足度＝問2-1の回答をポイント換算した得点】

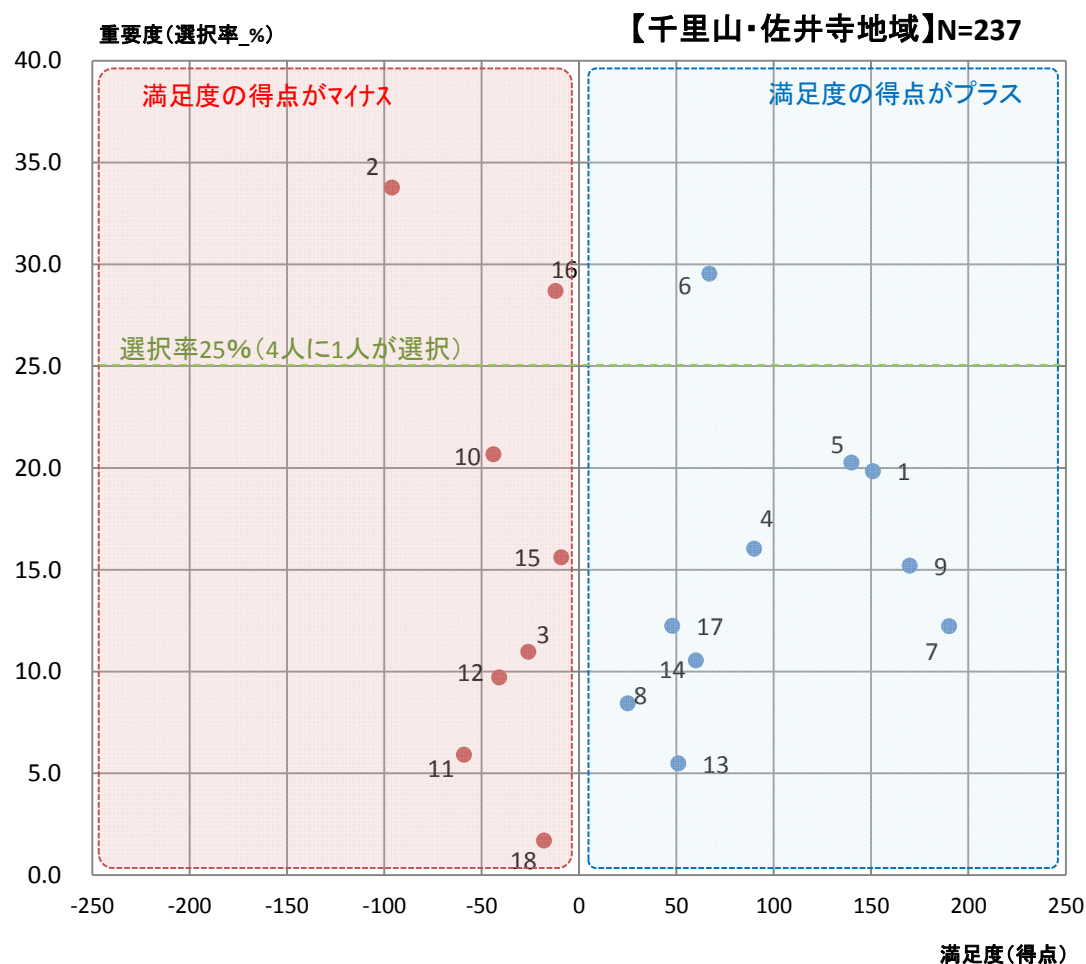
・そう思う:2点 ・どちらかといえばそう思う:1点

・どちらかといえばそう思わない:-1点 ・そう思わない:-2点

【参考】 地域別結果

■問2-1 まちづくりへの評価 × 問2-2 今後の重要テーマ

【千里山・佐井寺地域】



番号	テーマ
1	身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実している
2	歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている
3	自動車が快適に利用できる道が整備されている
4	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい
5	地震や風水害に対して安全なまちである
6	防犯面で安心できるまちである
7	公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせる
8	まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われている
9	公園や緑地・水辺などの自然環境が充実している
10	駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがある
11	さまざまな産業が集積し、まちに活力がある
12	省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちである
13	地域の自然や歴史文化が継承され、活用されている
14	良好で魅力あるまちなみが保全・形成されている
15	まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいる
16	高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っている
17	生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実している
18	身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っている

【縦軸・重要度＝問2-2で重要として選択された比率】

・当該属性の人数に対し、何%が選択したかを示す

【横軸・満足度＝問2-1の回答をポイント換算した得点】

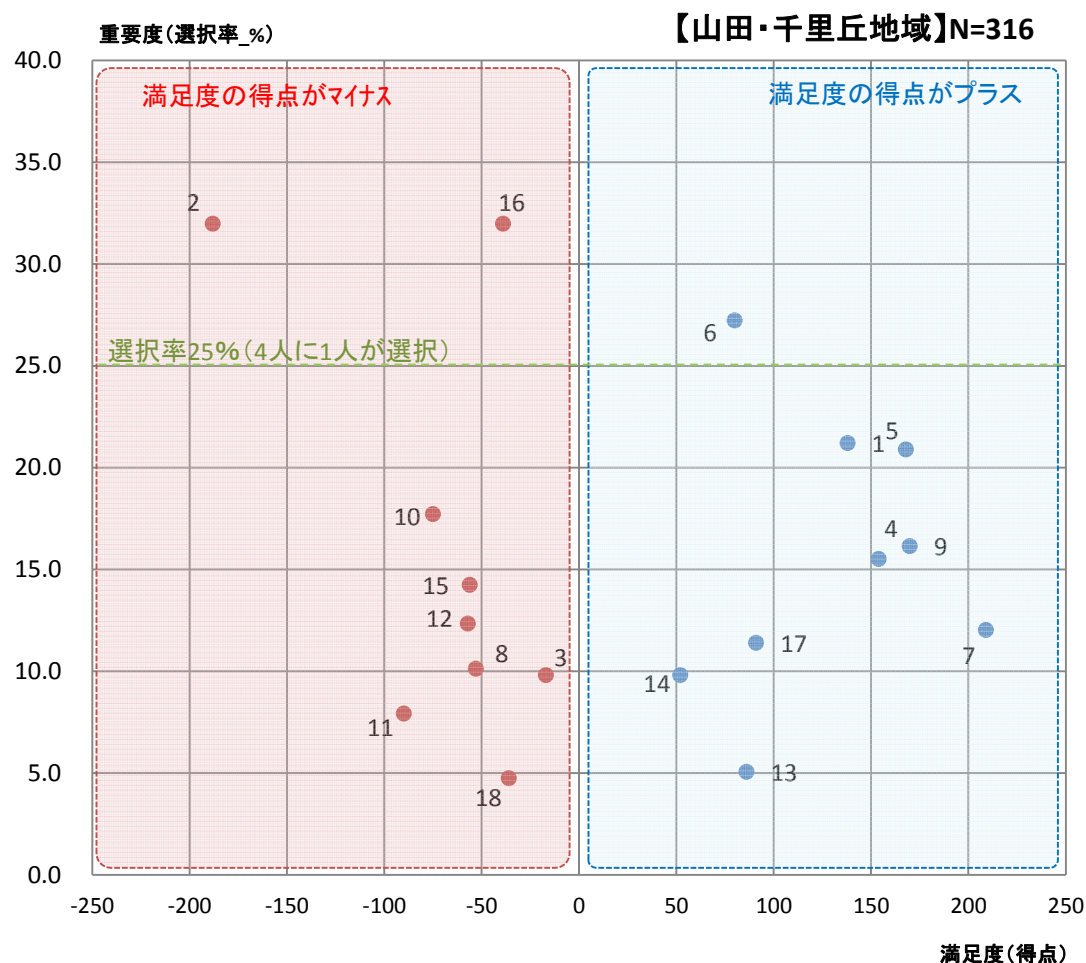
・そう思う:2点 ・どちらかといえばそう思う:1点

・どちらかといえばそう思わない:-1点 ・そう思わない:-2点

【参考】 地域別結果

■問2-1 まちづくりへの評価 × 問2-2 今後の重要テーマ

【山田・千里丘地域】



番号	テーマ
1	身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実している
2	歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている
3	自動車が快適に利用できる道が整備されている
4	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい
5	地震や風水害に対して安全なまちである
6	防犯面で安心できるまちである
7	公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせる
8	まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われている
9	公園や緑地・水辺などの自然環境が充実している
10	駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがある
11	さまざまな産業が集積し、まちに活力がある
12	省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちである
13	地域の自然や歴史文化が継承され、活用されている
14	良好で魅力あるまちなみが保全・形成されている
15	まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいる
16	高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っている
17	生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実している
18	身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っている

【縦軸・重要度＝問2-2で重要として選択された比率】

・当該属性の人数に対し、何%が選択したかを示す

【横軸・満足度＝問2-1の回答をポイント換算した得点】

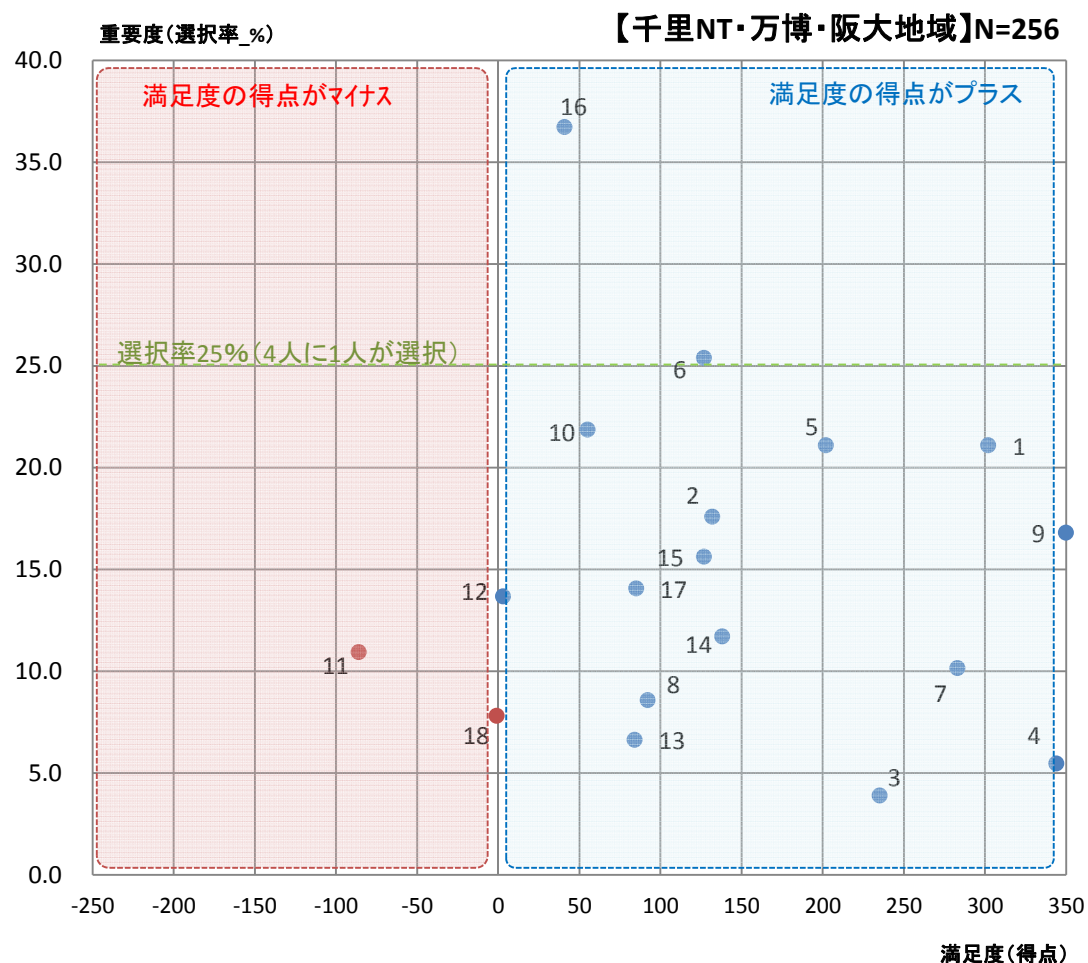
・そう思う:2点 ・どちらかといえばそう思う:1点

・どちらかといえばそう思わない:-1点 ・そう思わない:-2点

【参考】 地域別結果

■問2-1 まちづくりへの評価 × 問2-2 今後の重要テーマ

【千里ニュータウン・万博・阪大地域】



番号	テーマ
1	身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実している
2	歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている
3	自動車が快適に利用できる道が整備されている
4	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい
5	地震や風水害に対して安全なまちである
6	防犯面で安心できるまちである
7	公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせる
8	まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われている
9	公園や緑地・水辺などの自然環境が充実している
10	駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがある
11	さまざまな産業が集積し、まちに活力がある
12	省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちである
13	地域の自然や歴史文化が継承され、活用されている
14	良好で魅力あるまちなみが保全・形成されている
15	まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいる
16	高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っている
17	生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実している
18	身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っている

【縦軸・重要度＝問2-2で重要として選択された比率】

・当該属性の人数に対し、何%が選択したかを示す

【横軸・満足度＝問2-1の回答をポイント換算した得点】

・そう思う:2点 ・どちらかといえばそう思う:1点

・どちらかといえばそう思わない:-1点 ・そう思わない:-2点

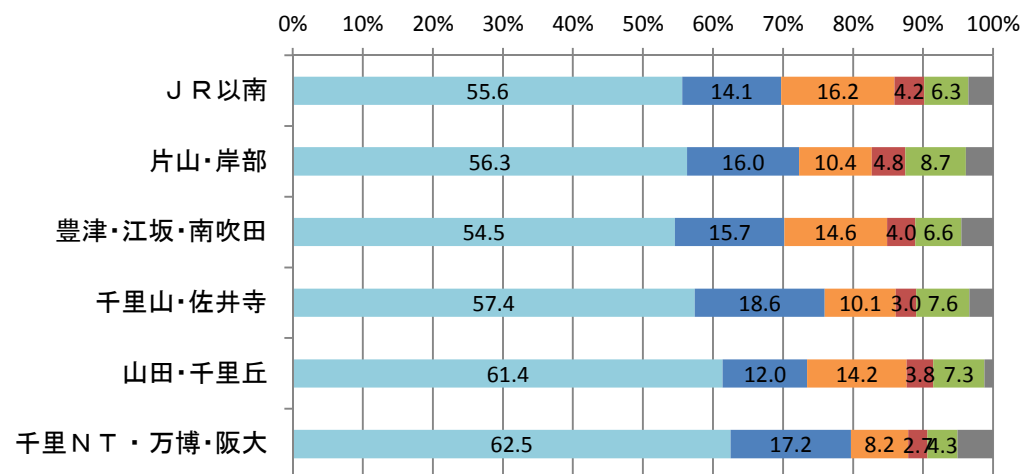
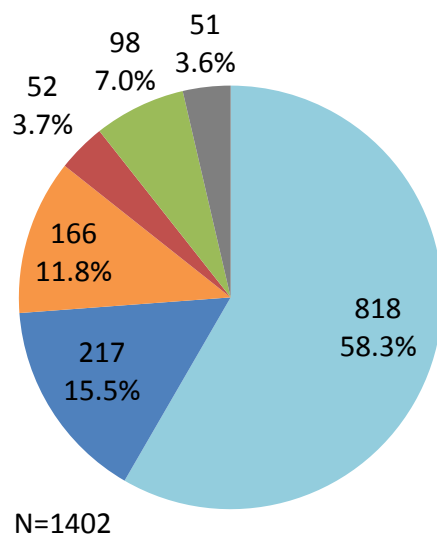
5. 定住に関する意識

① 定住意向

- ・住み続けたいとの意思を持った方の割合は約74%(58.3%+15.5%)を占める。
- ・定住意向は市の北部で高く、南部の各地域でやや低い。

問3-1定住意向	集計
今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている	818
できれば住み続けたいが、たぶん引っ越すことになると思う	217
できれば引っ越したいが、たぶんこのまま住み続けることになると思う	166
よそへ移りたいので、引っ越すことを考えている	52
わからない	98
不明・無効	51
総計	1402

■問3-1 定住意向



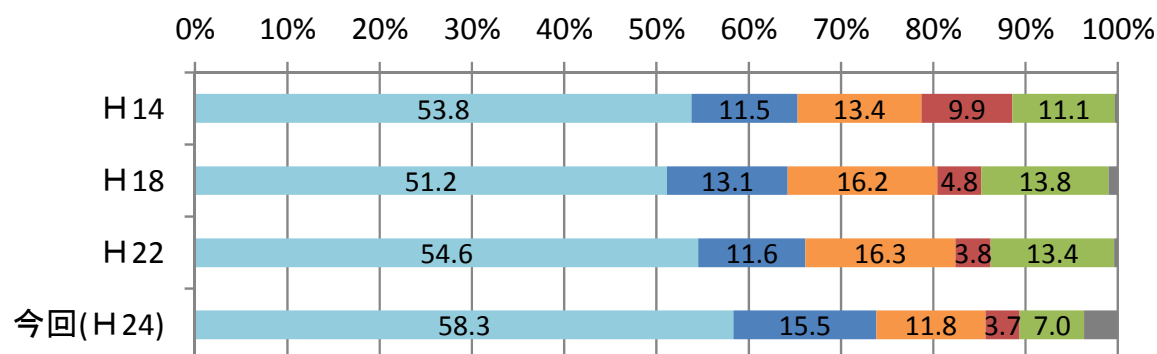
- 今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている
- できれば住み続けたいが、たぶん引っ越すことになると思う
- できれば引っ越したいが、たぶんこのまま住み続けることになると思う
- よそへ移りたいので、引っ越すことを考えている
- わからない
- 不明・無効

【参考】 定住意向の推移(市民意識調査との比較)

・市民意識調査において、住み続けたいとの意思を持った方の割合は65%前後で推移しており、今回の結果(約74%)は高めとなっている。

※アンケート全体の設問様式が異なるため、単純比較はできない。

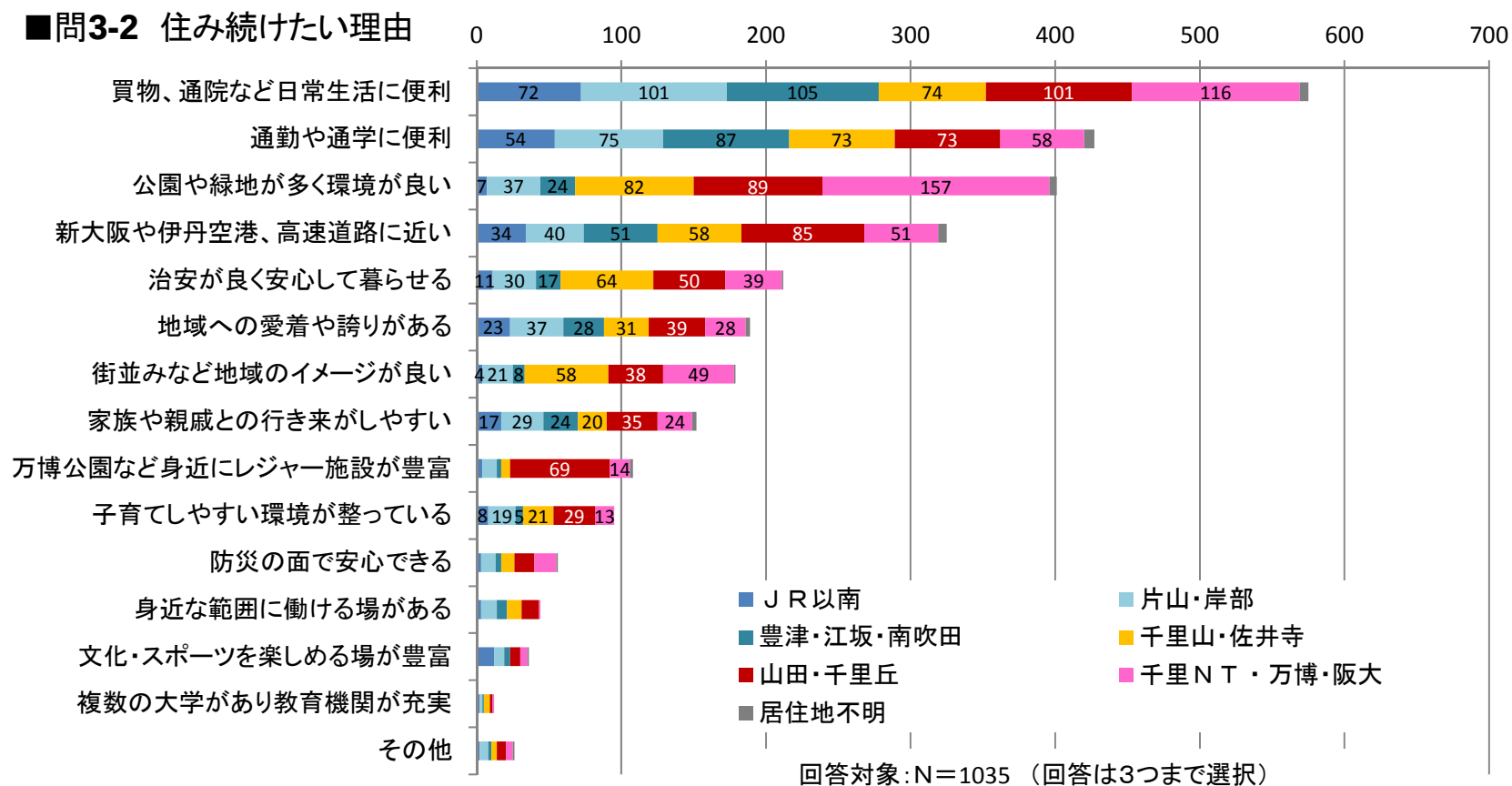
■ 定住意向の推移(H14~H22は市民意識調査による)



- 今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている
- できれば住み続けたいが、たぶん引っ越すことになると思う
- できれば引っ越したいが、たぶんこのまま住み続けることになると思う
- よそへ移りたいので、引っ越すことを考えている
- わからない
- 不明・無効

② 住み続けたい理由(居住地域積上げ)

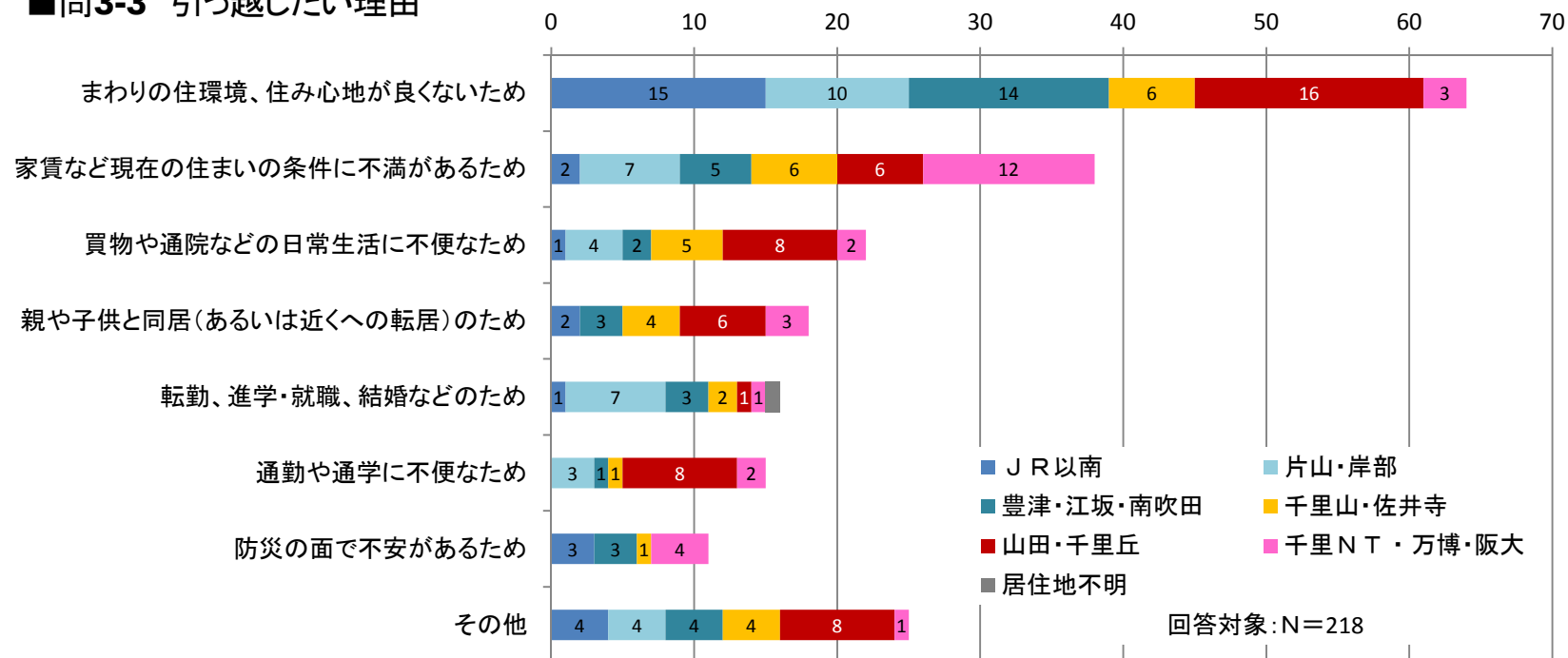
- ・日常生活や交通の利便性が理由の上位を占める。(居住地域問わず)
- ・公園や緑地などの環境も評価されている。(特に千里NT・万博・阪大地域)
- ・治安や街並みなど地域のイメージは北部3地域での評価が高い。



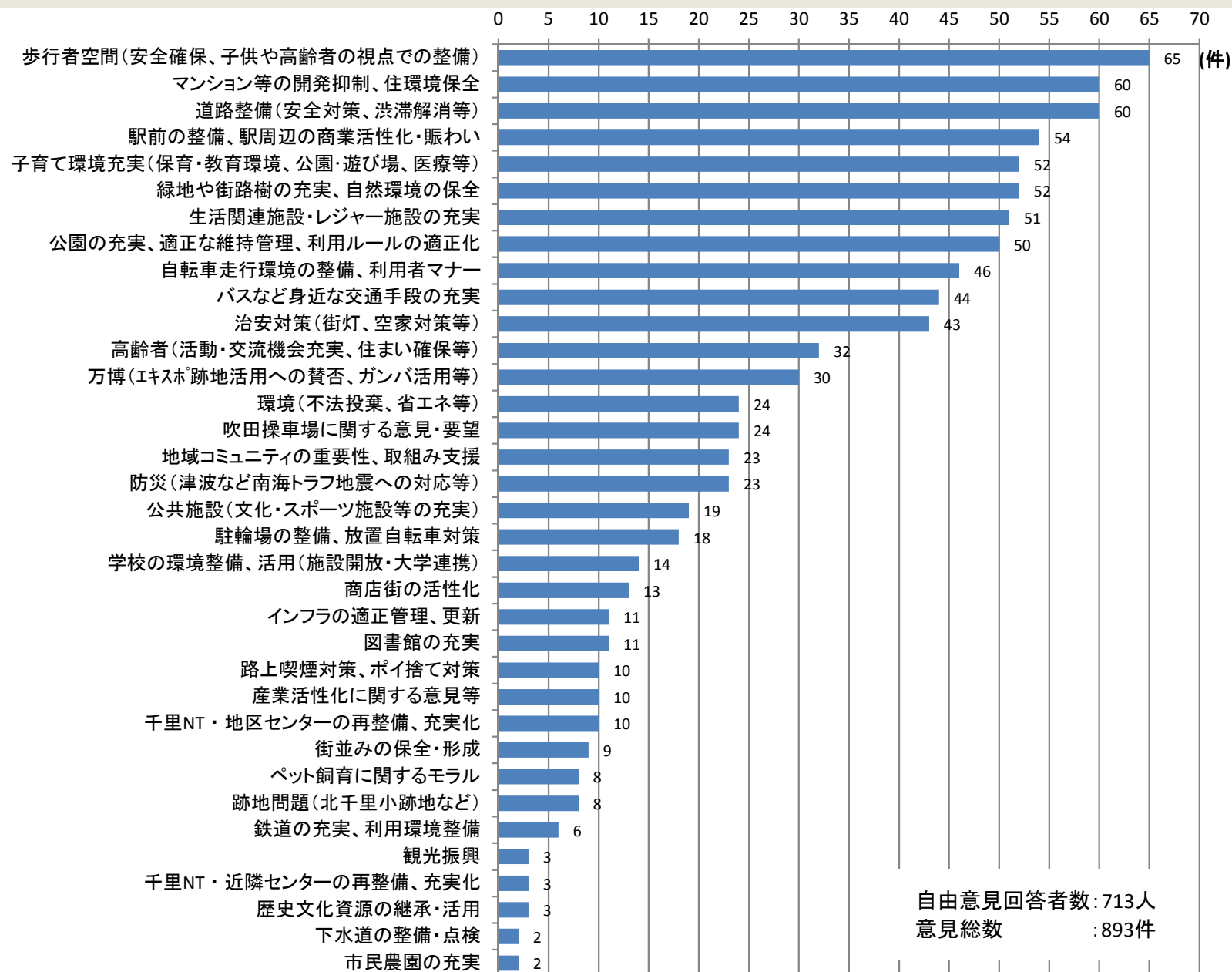
③ 引っ越したい理由(居住地域積上げ)

- ・まわりの住環境、住み心地の問題が理由として最も多い。(南部3地域、山田・千里丘)
- ・住まいの条件への不満も上位となっている。(千里NT・万博・阪大)
- ・利便性への不満は山田・千里丘地域でやや多い。

■問3-3 引っ越したい理由



6. 自由意見（キーワードによる集計）

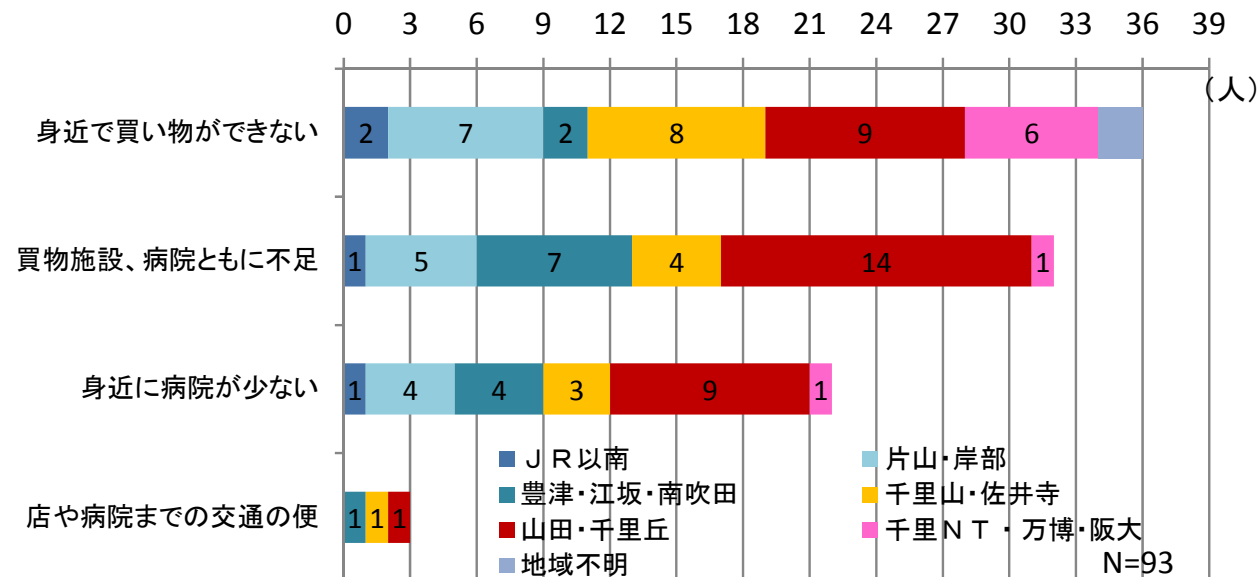


7.【参考】現状評価が低い理由（キーワードによる集計）

①身近な範囲での生活施設に関する評価が低い理由

- ・山田・千里丘地域では買物施設、病院ともに不足しているとの回答が多い。
- ・千里NT・万博・阪大地域では買物施設が不足との意見は多いが、病院の不足を指摘する意見は少ない。

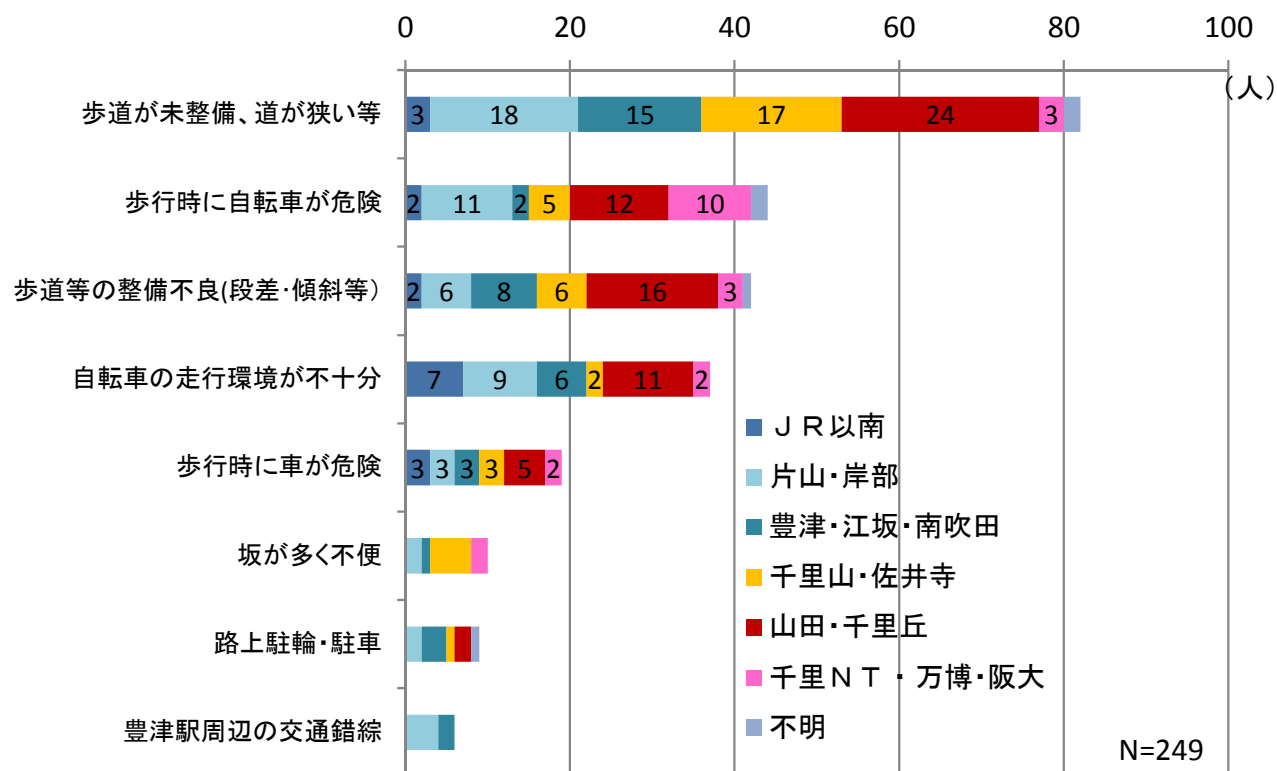
■ 身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実していると思わない理由（自由記述を分類・集計）



②歩行者・自転車のための空間について評価が低い理由

- ・JR以南では自転車の走行環境が不十分との意見が多く見られる。
- ・千里NT・万博・阪大地域では歩行時における自転車の危険性を指摘する意見が目立つ。
- ・山田・千里丘地域では歩道が未整備、道が狭いとの意見が多く見られる。

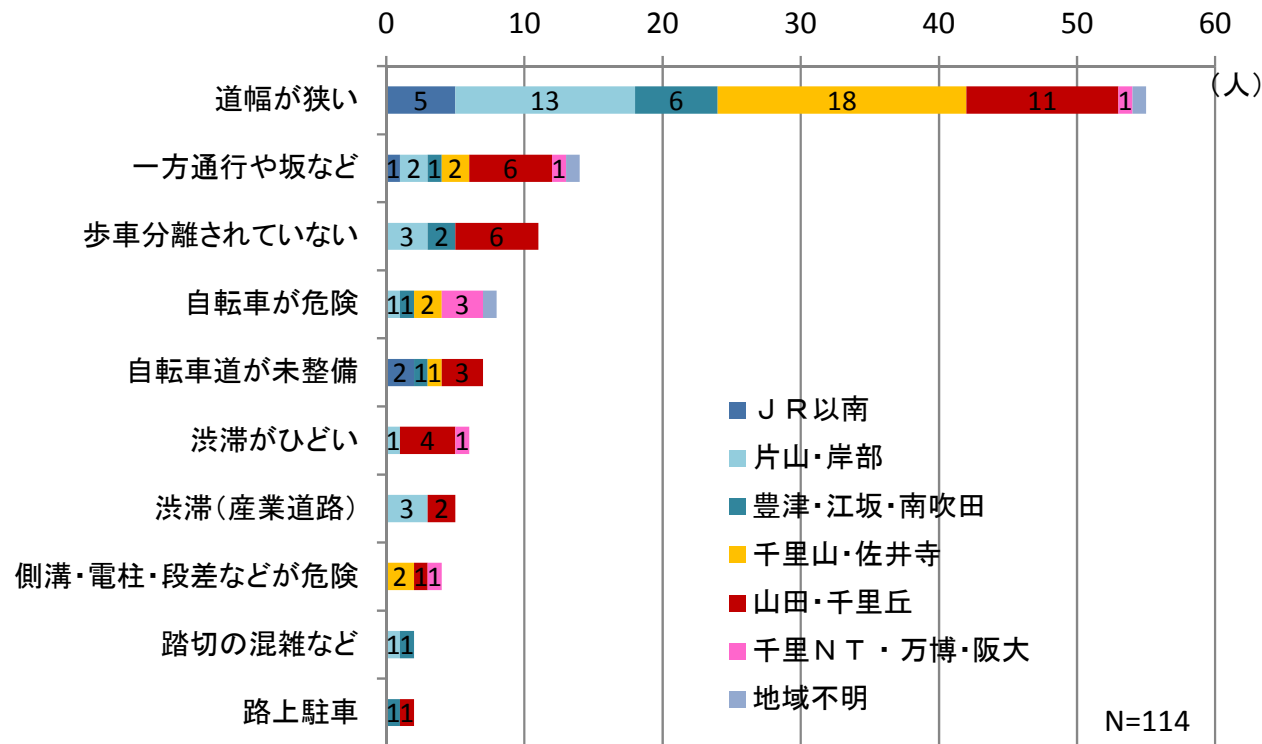
■歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されていると思わない理由(自由記述を分類・集計)



③自動車の走行空間について評価が低い理由

- ・道幅が狭いとの意見が突出して多く、各地域にまたがって見られる。

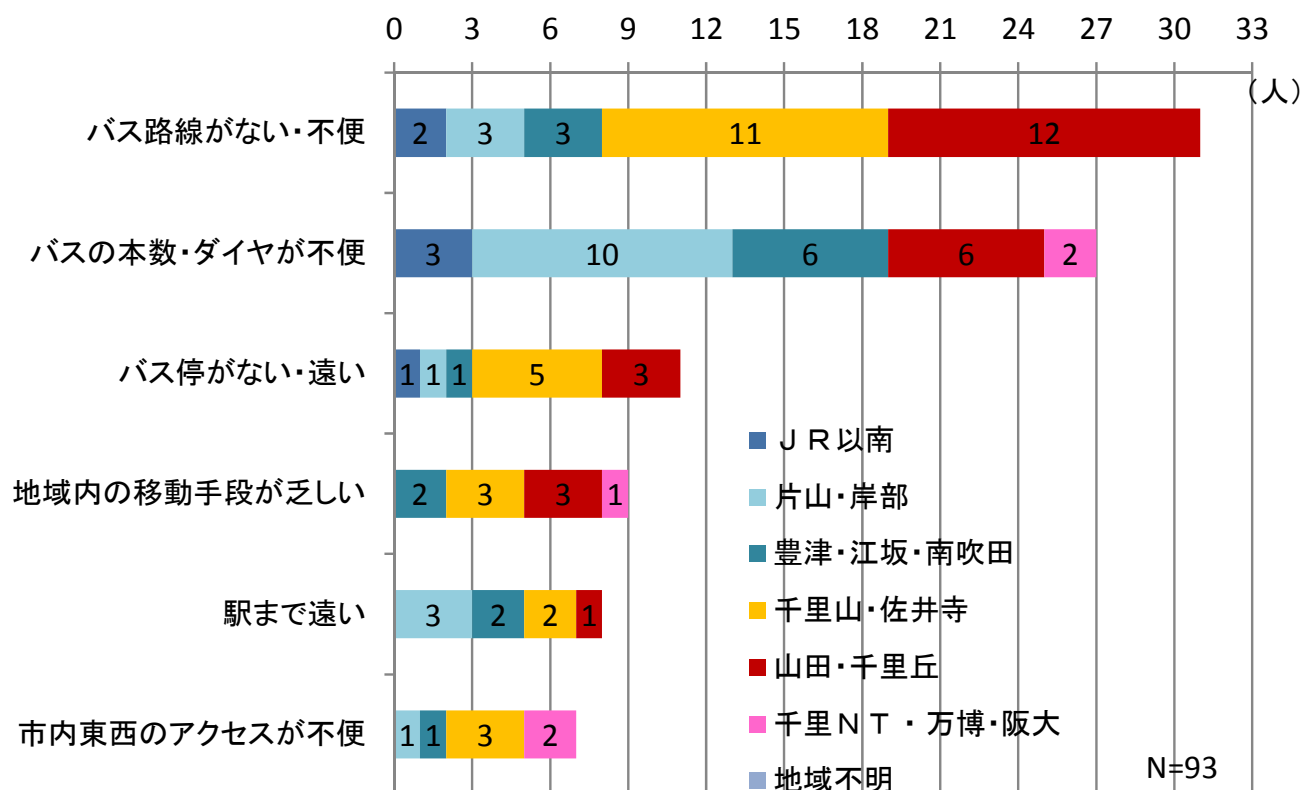
■ 自動車が快適に利用できる道が整備されていると思わない理由（自由記述を分類・集計）



④公共交通の利用環境について評価が低い理由

- ・千里山・佐井寺、山田・千里丘の両地域では、バス路線がない等の意見が多い。
- ・片山・岸部、豊津・江坂・南吹田の両地域では、バスの運行本数やダイヤへの不満が多い。

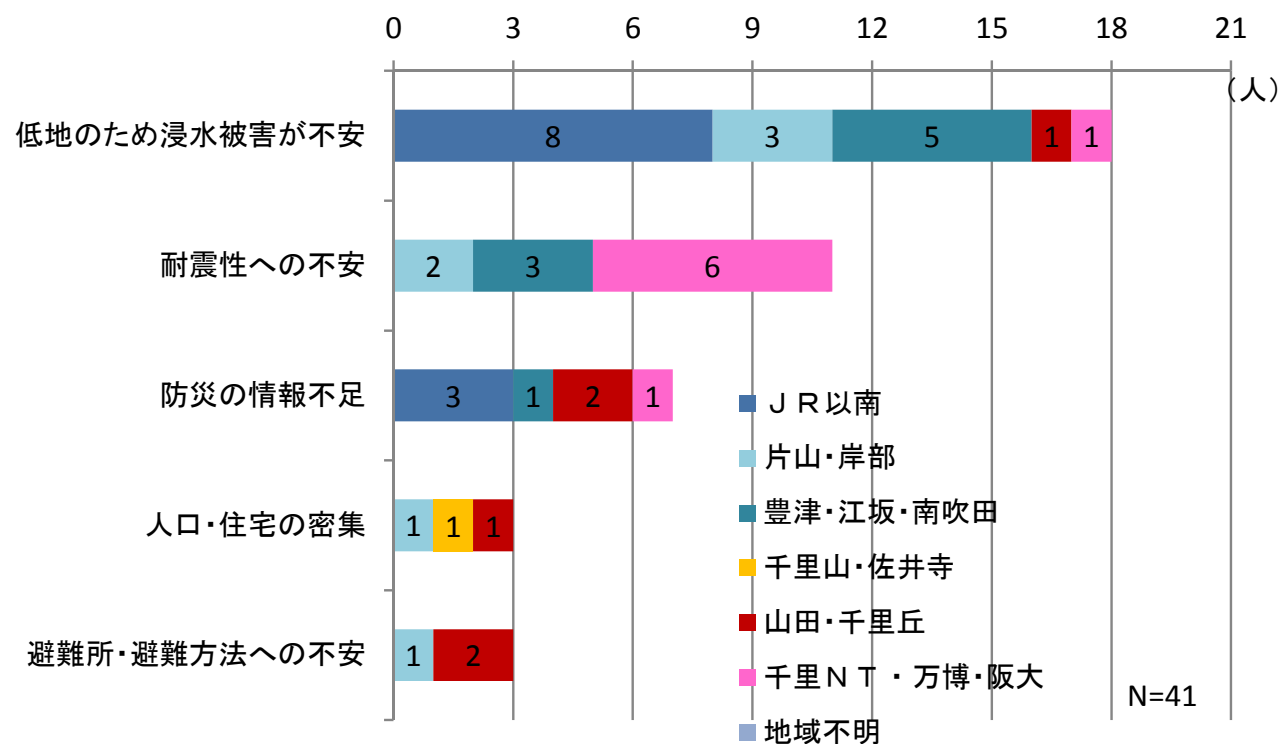
■鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすいと思わない理由(自由記述を分類・集計)



⑤災害に対する安全性について評価が低い理由

- ・JR以南や豊津・江坂・南吹田などの地域では、浸水被害への不安が多い。
- ・千里NT・万博・阪大地域では耐震性への不安が多く見られる。

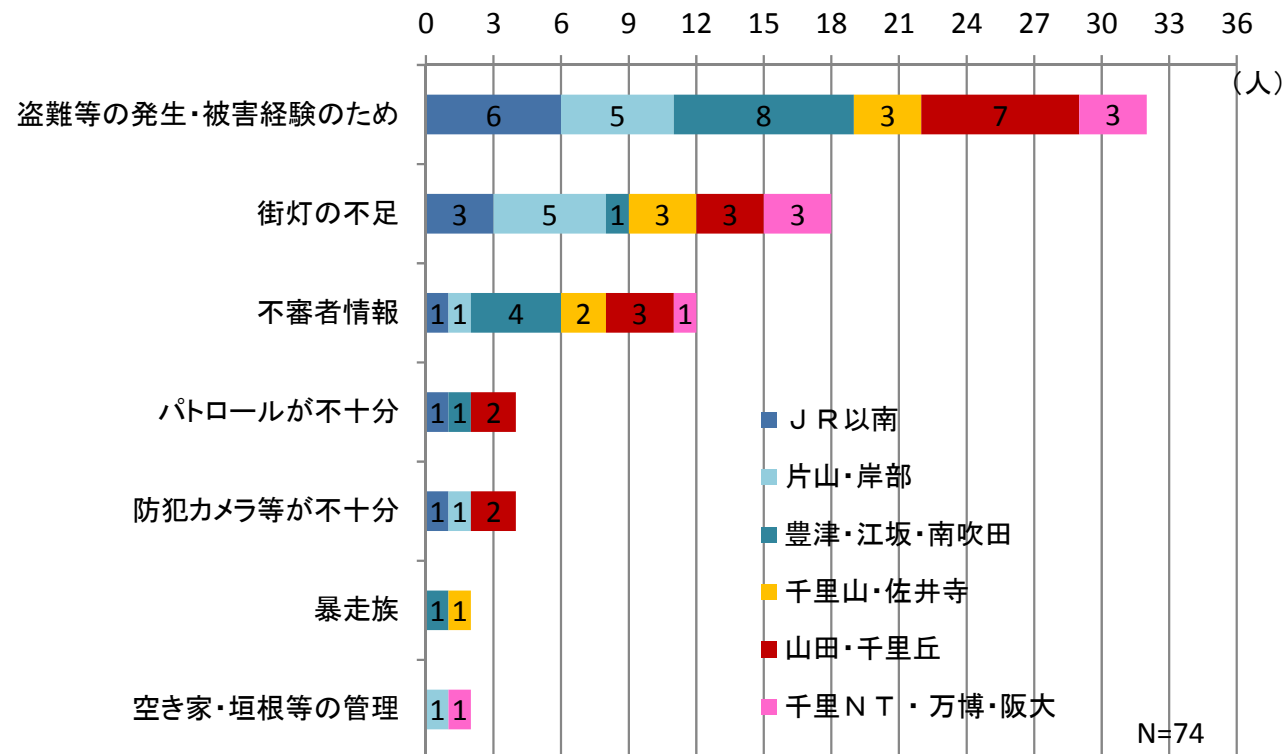
■地震や風水害に対して安全なまちであると思わない理由(自由記述を分類・集計)



⑥防犯面での安全性について評価が低い理由

- ・周囲での盗難事件等の発生や被害経験が低評価の理由となっている。
- ・街灯の不足や不審者情報なども理由として多く挙げられている。

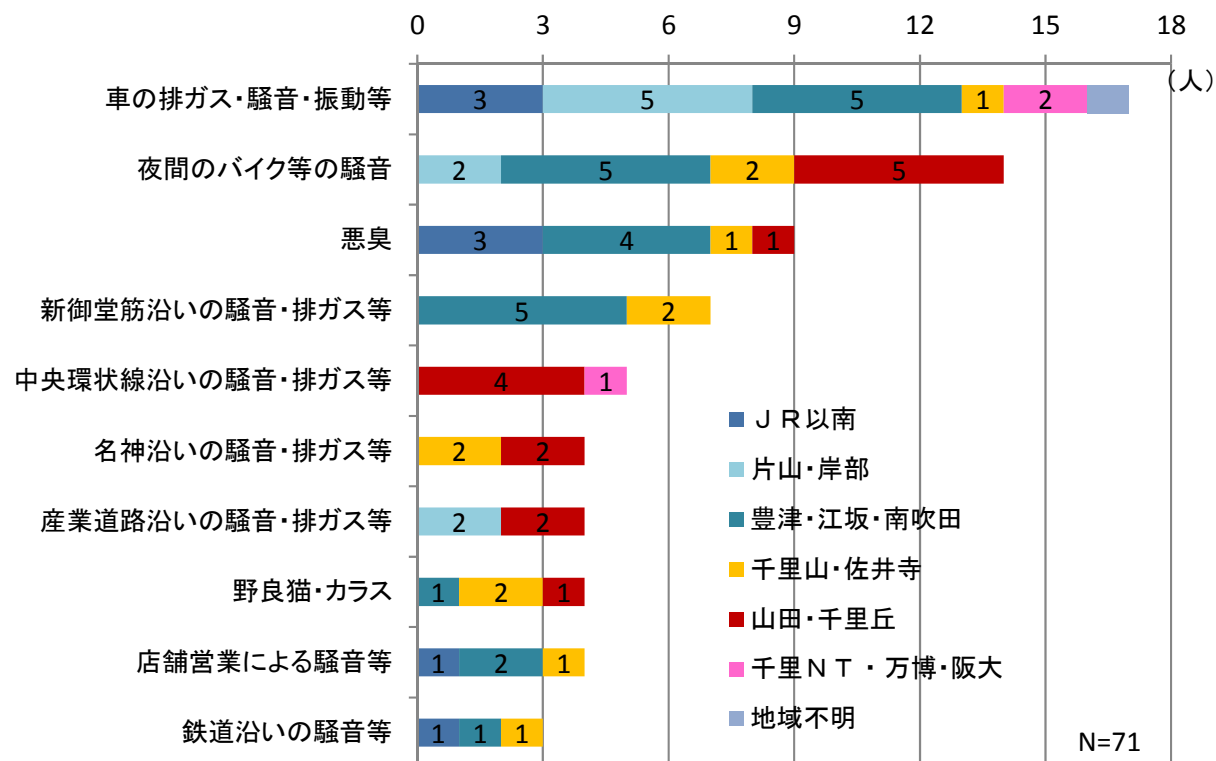
■防犯面で安心できるまちであると思わない理由(自由記述を分類・集計)



⑦騒音・振動・悪臭などの環境面で評価が低い理由

・車の騒音・排ガス等や、夜間のバイク騒音などが理由として多く挙げられている。

■公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせると思わない理由(自由記述を分類・集計)

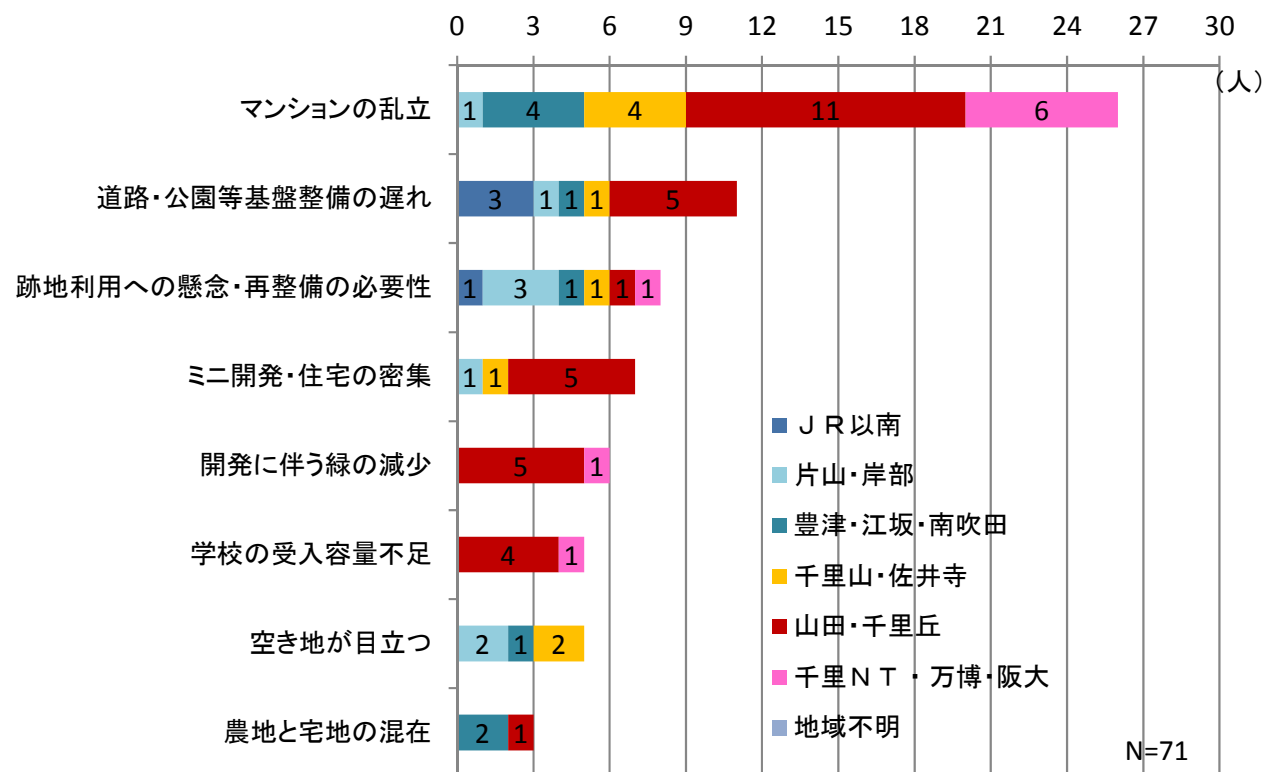


⑧計画的土地利用に関して評価が低い理由

・マンションの乱立を挙げる意見が多く、とくに山田・千里丘地域、千里NT・万博・阪大地域などで多い。

・また山田・千里丘地域では、それ以外の理由(基盤整備の遅れ、住宅の密集など)についても多く見られる。

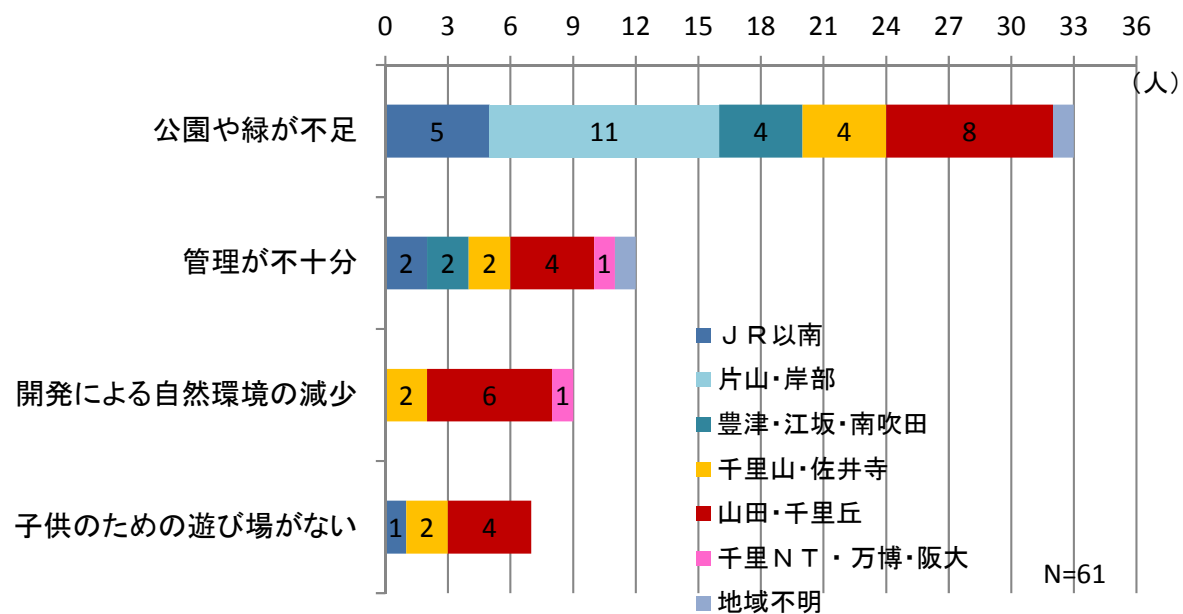
■まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われていると思わない理由(自由記述を分類・集計)



⑨公園・緑地・水辺等の自然環境に関して評価が低い理由

・公園や緑が不足しているとの意見が多く、とくに片山・岸部地域や山田・千里丘地域などで多い。

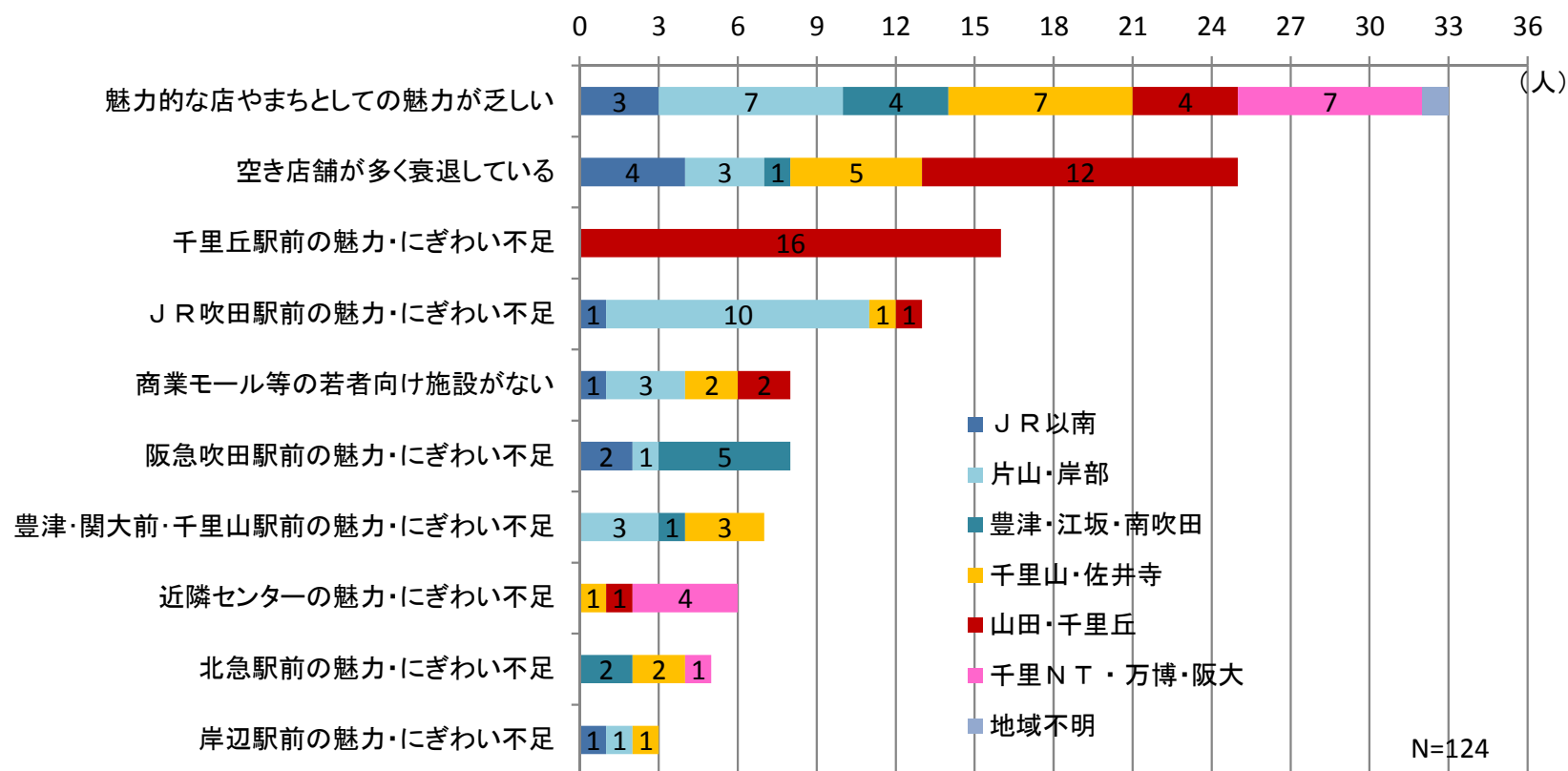
■公園や緑地・水辺などの自然環境が充実していると思わない理由(自由記述を分類・集計)



⑩駅前商業の魅力・にぎわいに関して評価が低い理由

・各地域ともに、駅前などの商業拠点の魅力・にぎわい不足が理由として多く挙がっている。

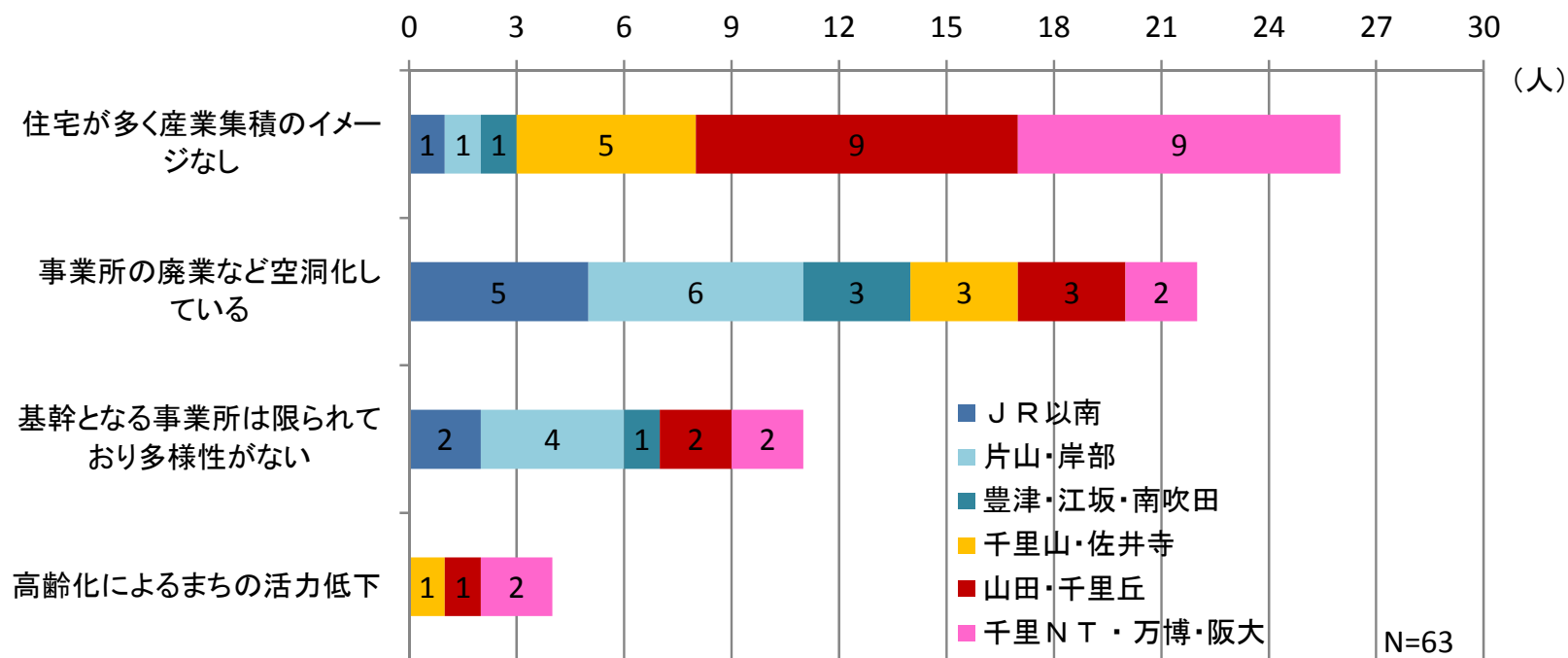
■駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがあると思わない理由(自由記述を分類・集計)



⑪産業面での活力に関して評価が低い理由

・地域の特性によってとらえ方が異なる。(住宅の割合が高い地域では、産業集積のイメージがなく、事業所が多い南部の地域では空洞化しているとの意見が多い。)

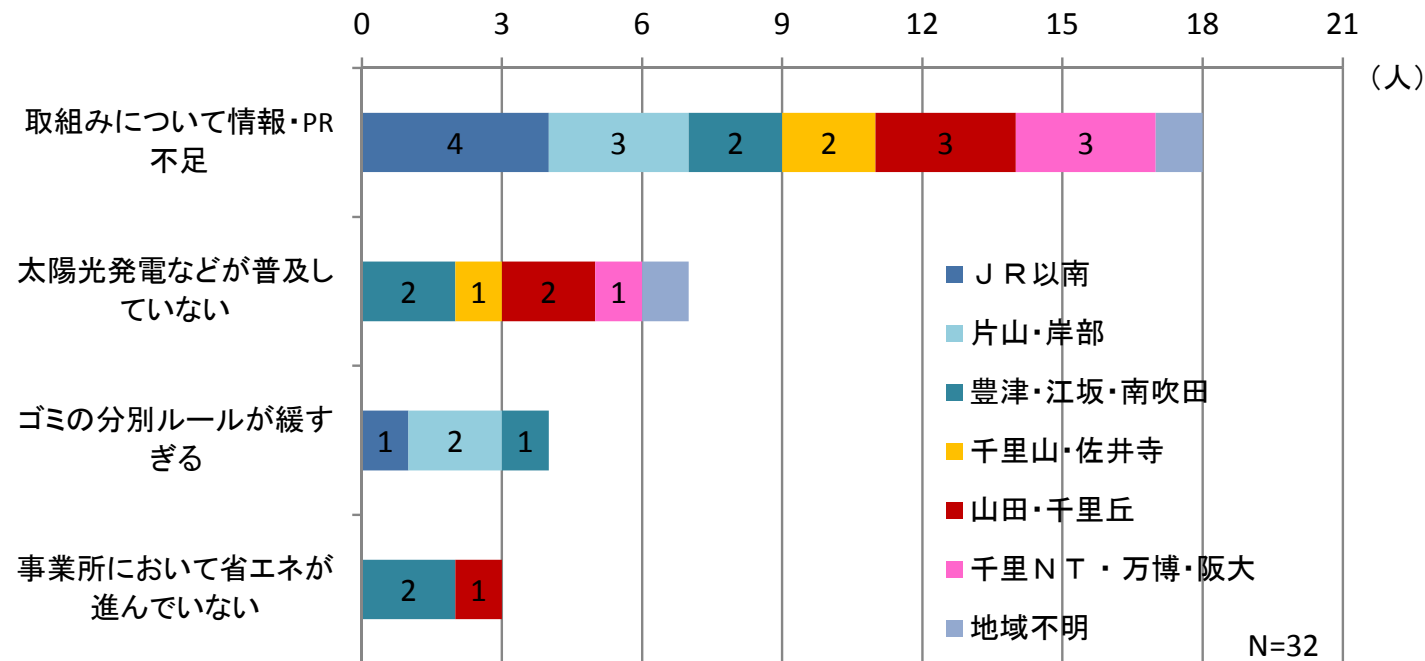
■さまざまな産業が集積し、まちに活力があると思わない理由(自由記述を分類・集計)



⑫環境への配慮に関して評価が低い理由

- ・取組についての情報やPRの不足が低い評価の理由となっている。

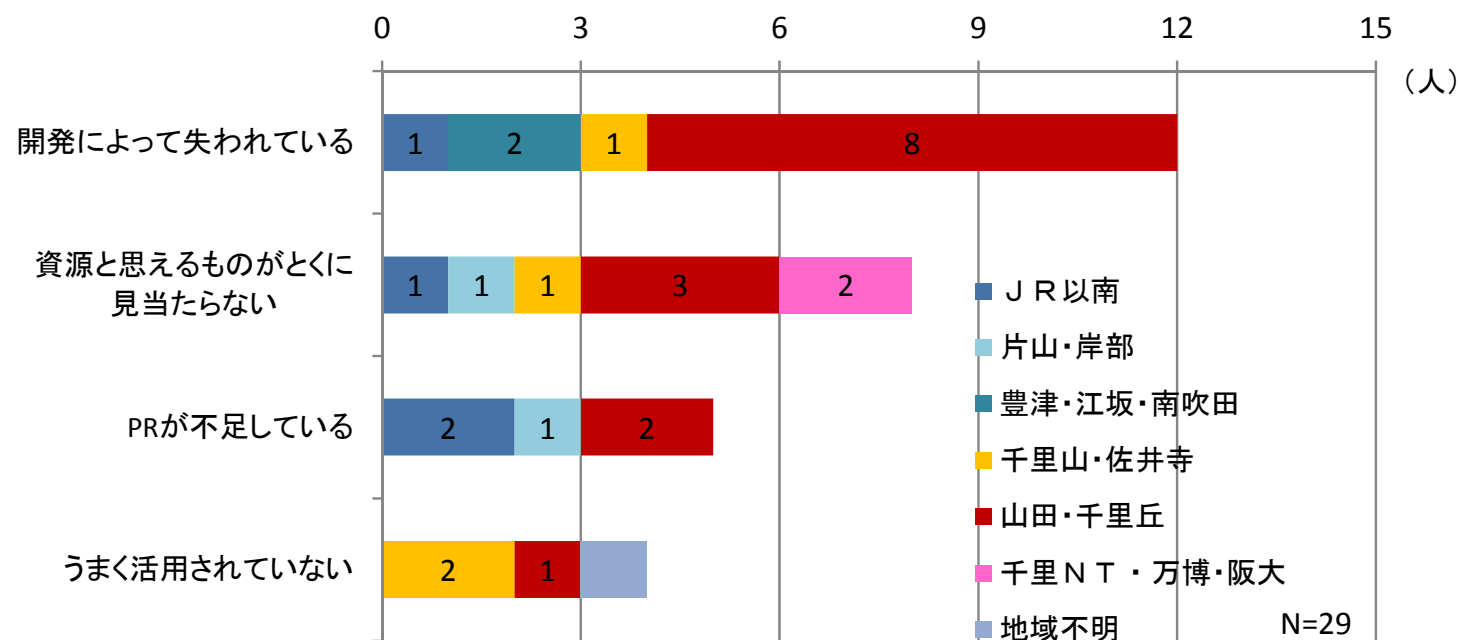
■省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちであると思わない理由(自由記述を分類・集計)



⑬地域の自然・歴史文化の継承・活用に関して評価が低い理由

・開発によって失われているとの意見が多く、とくに山田・千里丘地域において多くなっている。

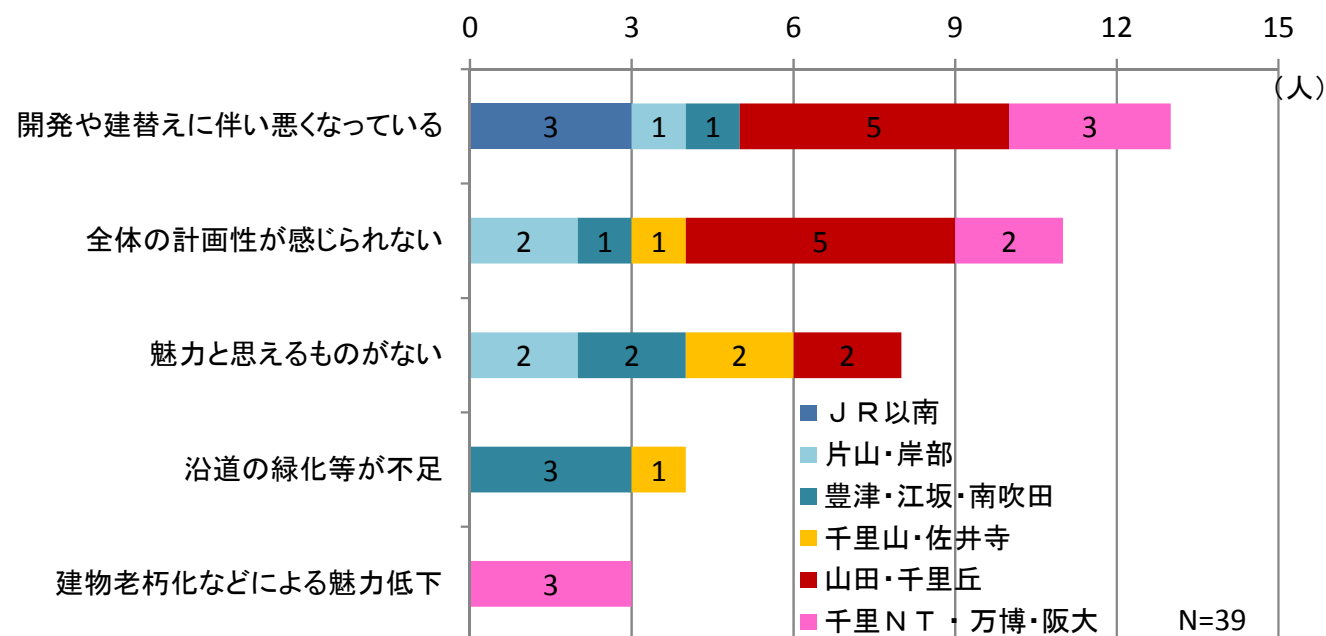
■地域の自然や歴史文化が継承され、活用されていると思わない理由（自由記述を分類・集計）



⑭まちなみの保全・形成に関して評価が低い理由

・開発や建替えに伴い悪くなっている、または全体の計画性が感じられないとの意見が多く、とくに山田・千里丘地域において多くなっている。

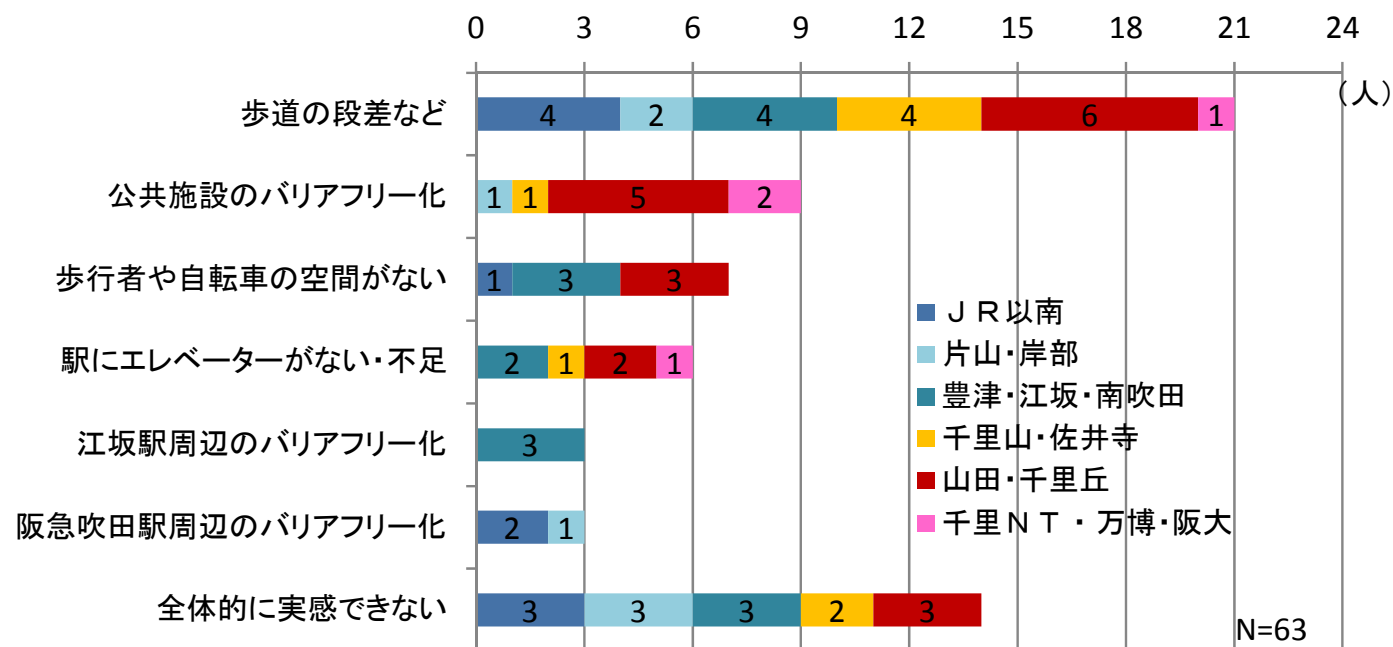
■良好で魅力あるまちなみが保全・形成されていると思わない理由（自由記述を分類・集計）



⑮ バリアフリー化に関して評価が低い理由

- ・歩道の段差などについての意見が多く、各地域にまたがって見られる。
- ・また、江坂駅周辺や阪急吹田駅周辺など個別の駅周辺に関しても意見が見られる。

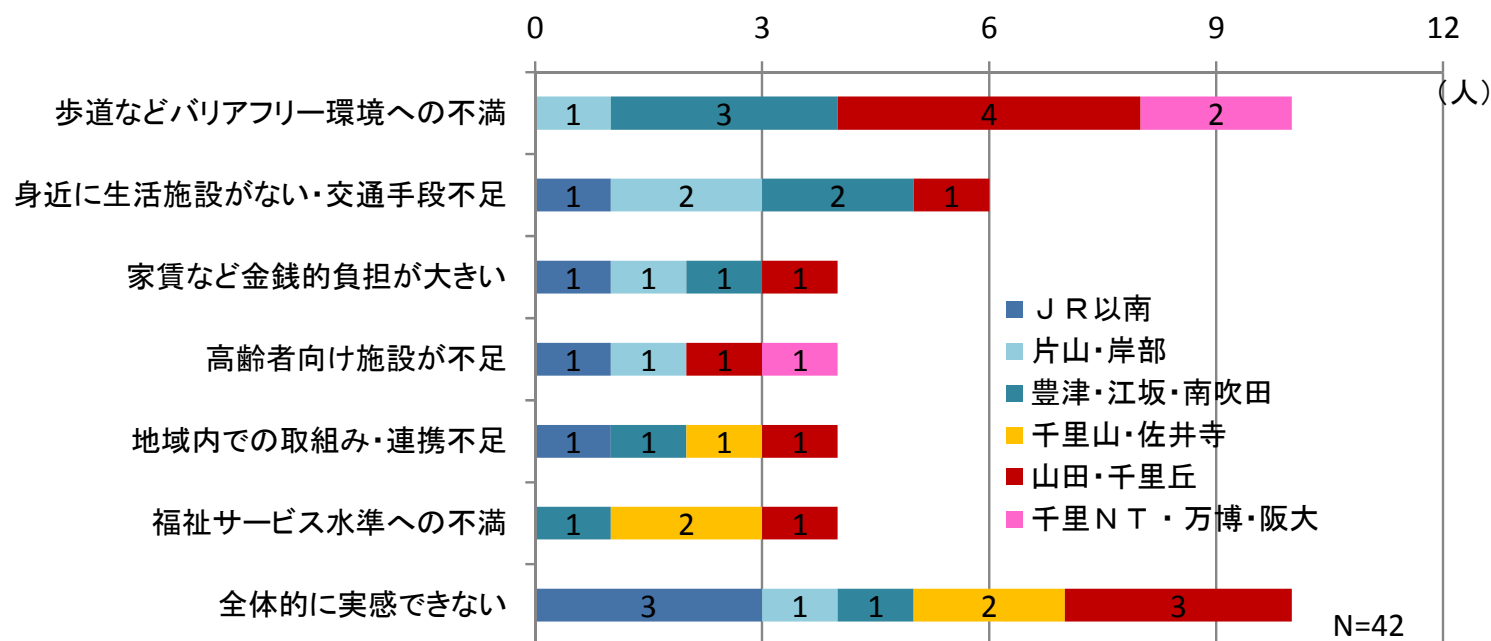
■ まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいると思わない理由(自由記述を分類・集計)



⑩高齢者のための住宅・サービスに関して評価が低い理由

・歩道などのバリアフリー環境への不満、身近に生活施設がないことや交通手段が不足していることへの不満が多く見られる。

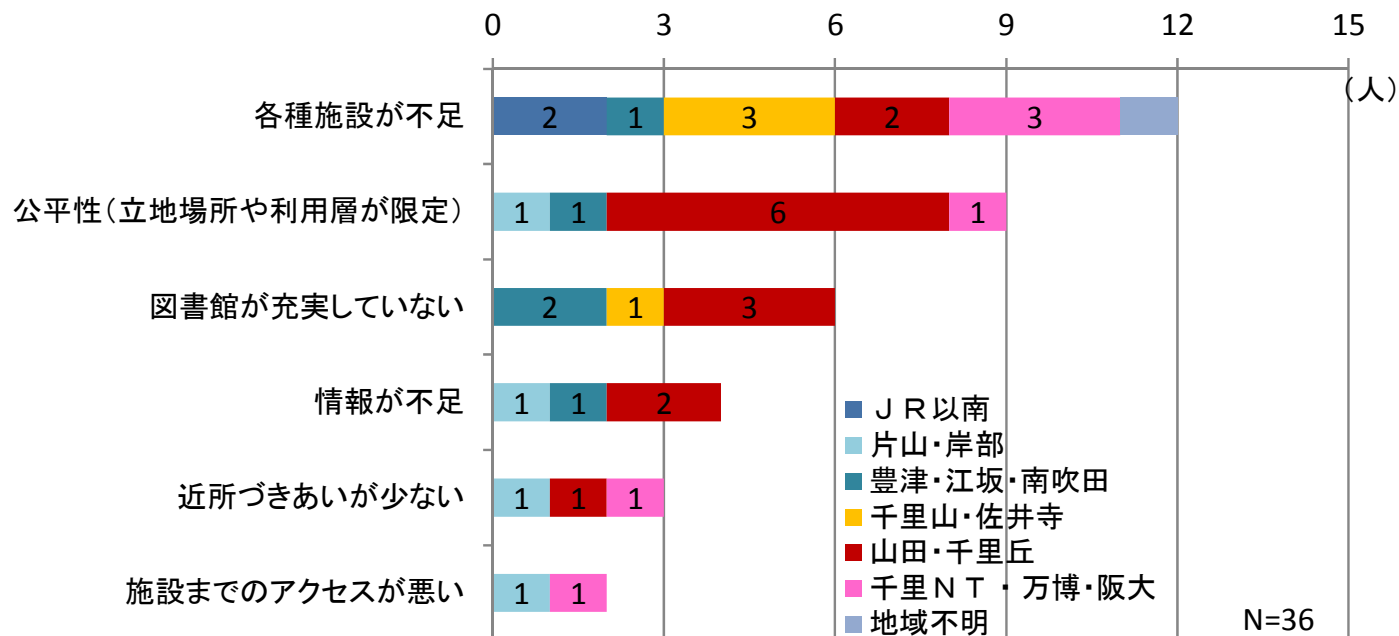
■高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っていると思わない理由(自由記述を分類・集計)



⑪生涯学習・文化・コミュニティ活動の場に関して評価が低い理由

・施設が不足していること、立地場所が限られているなど地域間格差があることへの不満が多く見られる。

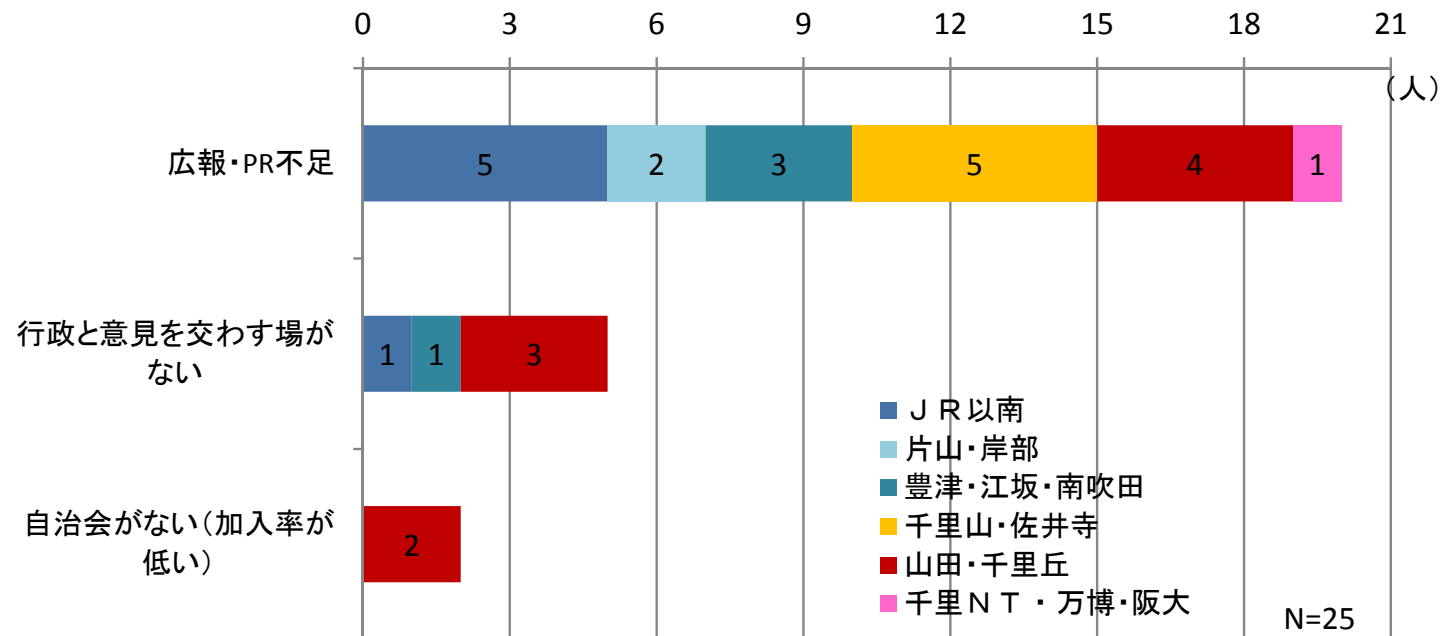
■生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実していると思わない理由(自由記述を分類・集計)



⑱身近なまちづくりへの参加機会に関して評価が低い理由

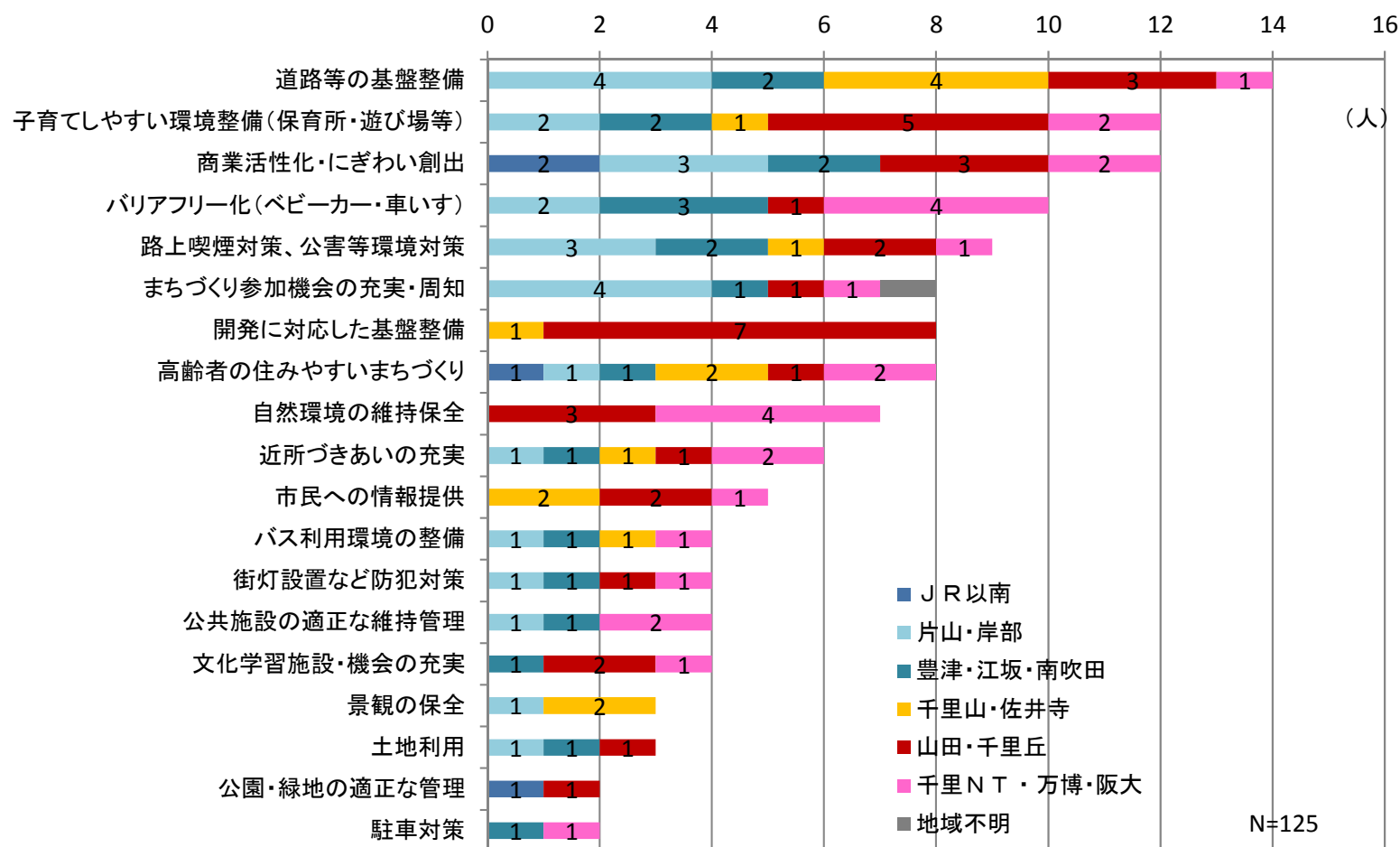
- ・活動や取組みの内容に関する広報・PR不足との意見が突出して多い。

■身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っていない理由(自由記述を分類・集計)



8. 18項目以外に気づいたテーマや意見など（キーワードによる集計）

- ・評価用18項目以外のテーマとして、子育てしやすい環境の整備、路上喫煙等の対策などが意見として多く見られる。
- ・また、山田・千里丘地域では、開発に対応した基盤整備についての意見が多い。



9. アンケート結果から見た課題

① まちづくりに対する評価について

○ 高評価

- ・身近な範囲の生活施設
- ・公共交通利便性
- ・健康的な住環境
- ・自然環境

× 低評価

- ・歩行者や自転車の空間整備
- ・産業集積・まちの活力
- ・商業地の賑わい
- ・車利用から見た道路の整備

? どちらとも言えない・分からない

- ・計画的土地利用
- ・環境配慮
- ・高齢者向けの住宅・サービス
- ・身近なまちづくりへの参加機会

- 「歩行者や自転車の空間整備」はとくに評価が低い
- 「どちらとも言えない・分からない」が過半数を占める項目がある
- 「防災安全性」は結果としてはプラス評価だが、「どちらとも言えない・分からない」の回答割合も高い。

② 今後の重要テーマについて

【10代～40代】

- 1位： 防犯
- 2位： 歩行者や自転車の空間整備(※)
- 3位： 防災安全性
- 4位： 商業地の賑わい

※ 特に、小学生以下の子供がいる世帯では重要度が高い

【50代～70代以上】

- 1位： 高齢者向けの住宅・サービス
- 2位： 歩行者や自転車の空間整備
- 3位： 防犯
- 4位： 防災安全性

- 年齢層により重要テーマは異なるが、「歩行者や自転車の空間整備」「防災安全性」などは、世代に共通して重要度が高い
- 「防犯」や「高齢者向けの住宅・サービス」など世代によって異なるニーズがある
- 「車利用から見た道路整備」は重要度は低いが、現状の評価も低い

③ 定住意識について

■ 住み続けたい理由

- 1位： 買物・通院など日常生活の利便性
- 2位： 通勤・通学の利便性
- 3位： 公園・緑地の多い良好な環境(※)
- 4位： 新幹線・空港・高速道路の利便性

※ 主に北部3地域

■ 引っ越したい理由(※)

- 1位： まわりの住環境・住み心地
- 2位： 住まいの条件への不満
- 3位： 買物・通院など日常生活に不便
- 4位： 通勤・通学に不便

※ 転居等の事情による理由を除いた順位

- 日常生活や通勤通学の利便性、良好な住環境、広域移動の利便性は本市の都市魅力の柱である
- 住環境や住宅条件への不満が、引っ越したい理由の上位となっている

④ 地域別でのまちづくり評価を踏まえた課題について

番号	テーマ	JR以南	片山・岸部	豊津・江坂・南吹田	千里山・佐井寺	山田・千里丘	千里NT・万博・阪大
1	身近な範囲にお店や病院などの生活施設が充実している	125	176	182	151	138	302
2	歩行者や自転車が快適に利用できる道が整備されている	-27	-120	-62	-96	-188	132
3	自動車が快適に利用できる道が整備されている	15	-9	11	-26	-17	235
4	鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすい	134	163	163	90	154	344
5	地震や風水害に対して安全なまちである	-35	90	38	140	168	202
6	防犯面で安心できるまちである	-7	29	21	67	80	127
7	公害や騒音・振動・悪臭などがなく、健康的に暮らせる	30	127	34	190	209	283
8	まちの特性に応じた計画的な土地利用が行われている	-29	-4	12	25	-53	92
9	公園や緑地・水辺などの自然環境が充実している	8	63	95	170	170	350
10	駅前や駅周辺の商業地に魅力・にぎわいがある	0	-88	118	-44	-75	55
11	さまざまな産業が集積し、まちに活力がある	-40	-51	60	-59	-90	-86
12	省資源・省エネルギーなど、環境に配慮したまちである	-48	-47	-52	-41	-57	3
13	地域の自然や歴史文化が継承され、活用されている	16	88	19	51	86	84
14	良好で魅力あるまちなみが保全・形成されている	-16	33	20	60	52	138
15	まちなかや公共施設のバリアフリー化が進んでいる	-13	-7	-32	-9	-56	127
16	高齢者が安心して暮らせる住宅やサービスが整っている	-23	-26	-38	-12	-39	41
17	生涯学習、文化活動、コミュニティ活動の場が充実している	24	42	29	48	91	85
18	身近な地域のまちづくりに関わる機会が整っている	-27	-7	-27	-18	-36	-1

・表中の数値は問2-1の回答をポイント換算した得点を示す

得点がマイナスの項目(弱み・課題)

得点が150以上の項目(強み・特長)

各地域において、満足度のポイントがマイナスとなったテーマのうち、重要度が高いもの(問2-2での選択率25%以上と設定)を赤枠囲い

- 自転車・歩行者の空間整備、高齢者向けの住宅・サービスは各地域に共通する課題
- 生活施設や交通の利便性は各地域に共通する特徴である